

新花巻図書館整備基本計画（案）に関する市民説明会

花巻地域 会議録

1. 開催日時 令和7年4月19日（土）午後2時00分～午後6時5分
2. 開催場所 生涯学園都市会館 第2・3中ホール
3. 参加人数 68名
4. 会議内容（質疑応答箇所のみ）

質問者1 今日は皆さんご苦勞様です。今日、この説明会にですね、建設場所を決定した市長が顔を見せていないと。これは非常に問題だと思います。そもそも5年前にまなび周辺に建設すると決まっていたこの図書館を、5年前にですね、JRの土地を50年間借りて、そしてアパート付きの図書館を建てるのだと、こういうふうに市長が突然発表したわけですよね。これがそもそも建設場所をここ5年間様々揉めてきた原因になっている。その市長が来て、そしてなぜ駅前に最終決定したのかということ、当然ご本人の口から説明するべきだと私はそう思っていました。それを事務方だけ派遣して説明会。しかもこんなに今日はたくさんおいでになって、市民が。なぜそれできないのか、私はですね、すぐ市長室に電話して来てもらうべきだと思ってるんですよ。このところ一つお答え願いたいと思う。

市川主任専門員 図書館計画室の市川です。5年前にアパート付きの図書館を市長が突然発表したということですが、そもそもですね、まなび学園周辺に図書館を移転するという計画は、ご存知だと思いますけども、花巻市立地適正化計画という中で書いていたということはございます。ただ、そこがまだ決まったわけではなくて、駅に近い方がいいというようなご意見もありましたし、我々もそれを、意見を聞いて、駅に近い場所で、できるだけ近い場所がないかっていうことを考えながら、これまで検討してきたということがございます。そうした中で、令和2年の1月29日に駅前のスポーツ用品店の場所に図書館をつくって、そこに複合施設ということで、賃貸住宅を図書館の上に併設した図書館を作る構想というのを発表したことがあります。その発表は、市長がしたものではありません。私が議員の方々に発表をしたというものであります。したがって、市長がなにも今日来なければいけないということではないと思います。市長が突如として発表したわけではありません。だから、市長が来ないというのはおかしいというのはないと思います。我々は市長の命でやってるのはそのとおりです。我々説明してるんです、最初に。必ずしも市長が来なきゃだめということではない。そういうふうに私達考えておりますし、それで説明会を開いているのでありますので、そこはご理解のほどお願いしたいと思います。

質問者1 わかりました。

質問者2 私はですね、新花巻図書館を考える会に属しています。そして運動の発展の中で3団体に広がった署名実行委員会のメンバーの1人です。市民会議にも参加しました。非常に不審な点がいくつかあって、今日は参加しています。

この間の決定の経過を市民に納得できるように話すことが今日の会議の目的という

ことで、私も市長に来てもらい、なぜこういうことになったのかお聞きしたいです。というのは、私達は2020年にその新聞報道を見て、非常にショックを受けました。自分たちの老後、あるいはこれからの子どもたちの楽しい夢を実現するために市長に願いを届けたいなと思って署名活動しました。1,500ぐらいの署名を一度持って行きましたが、市長は受け取りませんでした。話もろくに聞いてくれませんでした。こういうことがずっと続いてきたんです。3団体で署名活動したのも、市長の手には届いてないっていうお話ですし、議員さんの中ではその署名を見てない方もいらっしやいました。市民のこういう切実な声を届けられないまま、この市民会議のごく一部の方の意見で決まったことが非常に残念です。市民会議参加してた方々の誠実な話し合いは、それは全然問題にしてなくて、やっぱりその市の態度が非常に腹立たしいです。最後にここに今までのその署名活動とかいろんな団体の活動への対応って書いてますけども、ものが決まってから、つじつま合わせのようなこんな文章を出されても納得できません。もっと私達が署名を出したり、いろんな団体がこう声を上げた時点で、市民会議を開けばよかったんじゃないですか。最後に市民会議を開いて、

高橋次長

すいません。ご質問の方がありますので、声を荒げるのだけはやめていただけますでしょうか。これまで3回説明会させていただきまして、声を荒げられた方がいらした回もございました。それで、終わった後にですね、他の参加者の方から私は意見が言いたかったけども意見を言えなかったということがございました。ご質問者の方をまず優先させてください。声をあげるのだけはやめていただけますでしょうか。そこだけご了承ください。よろしいでしょうか。

質問者 2

ということで、市長の市民に対する向き合い方が非常に問題があると思うので、ここに来てお話聞きたいなって思いました。それから、最後に1つ、市民会議では決定はしないって何度も確認したんですよね。いろんな意見は出すけれども、その数で場所を決定しないっていうことだったのに、市長は決定しちゃったじゃないですか。そこもね、なんか裏切られたっていうか、騙されたっていう感じがするので、私は市長の話を直接聞きたいなと思います。以上です。

市川主任専門員

市長の話を聞きたいっていうのは、今日はできませんから、そこはご意見として承りますけども、要望を受け取っていないってことはないです。全て要望は受け取りましたし、市長も見ています。市長が見ていないと何か勘違いされてる方々、この間もおいでだったんですが、署名については、我々市民の数をカウントしてるんですね。市民で署名された数。それで、市民の数が何人だっていう、市長が発言していて、それに対して質問があって、市長は全て市民かっていうのは自分でチェックしてるわけではないというような趣旨で話をしているんです。市長は署名を見ています。なぜなら、私が持って行って見せているからです。内容も見ています。ですので、それを踏まえて、立体駐車場が不便だよというご意見、前からいただけてますよね。それで、平面ではできないのかっていうのも考えてきたわけです。つじつま合わせているわけじゃないですよ。署名のご意見も踏まえて、署名で書かれている方の意見ももっともだっていうところを考えてきてるんですよ。我々も考えてきてる。市長だって考えてきてるんですよ。2か所の場所に絞られてきていると言っているのは市長ですよ。

それを、何も駅って最初から決まっているわけではないのに、皆さん、駅に市長が決めてるんだと言いますが、そういうわけではないですよ。そういう中で、署名も踏まえて、当然 6,000、7,000 の署名、全国から 1 万人の署名をいただいたっていうことを重視してるんですよ。我々も、市長も。ただ、駅がいいって言ってる方々もあるんですよ。ですから、市民会議、無作為に抽出した方々から意見を聞きたいっていうことで市民会議やったわけですよ。そして、市民会議は決める場ではない。もちろんそうですよ。市民会議で決めるとなったら大変ですよ。参加する人いません。その皆さんのご意見を聞くっていうことを言っているわけですよ。それで、市としては、そのご意見、最後の回にヒアリングシートを書いてもらったわけですよ。それは、個人の意見を書いてもらったんです。ご存知だと思いますけど。皆さんで対話して、もちろん駅がいいっていう人もいましたし、病院跡地がいいっていう方もいましたよね。ただ、途中でやっぱり意見変わる人もいました。私、駅がいいと思ってたんだけど、病院もそういうメリットがあるんだっていうことで変わってく人もあった。逆に病院跡地の方がいいっていう方もいましたけども、みんなで話し合いをしてるうちに、駅の方もそういうメリットがあるんだっていうのもあったと思います。そういう方々の意見を、対話する中で、最後に、じゃあ皆さん自分ではどう思いますかって書いてもらったわけですよ。それ書いたのがこういう数値になったということです。それは会議で多数決で決めるわけじゃないです。それについて我々が見て、こう見るとやっぱり駅の方がいいんじゃないかっていうことで、今回駅にしたいっていうことですので、ご理解をいただきたいと思います。

質問者 3 病院跡地の方がね、1 万なんぼのその請願があったと。駅側の方はなにかあったんですか。請願とかそういうやつ。うん、病院跡地はこのぐらいあんだけども、駅前の方がいいっていう請願はなんぼあったんです。

市川主任専門員 駅前がいいっていう方の署名はないです。ただ、資料 11 ページにありますけども、この HANAMAKI Book Marks というところから、駅前に建ててほしいという要望が出されてますし、高校生などからアンケートを取った。それについては駅前がいいというふうな意見をいただいているということです。

質問者 3 やっぱりせつかくね、この 1 万なんぼのね、民意なんですよ。民意。民意を、まず無視したようなもんだ。ただ、駅前に同じくらいの民意があれば、まずそういう話し合いとかはやむを得ないと思うけどもね。駅前はまず請願が 0 なんですよ、まずさ。

市川主任専門員 0 じゃないです。

質問者 3 だから、だったら請願が出せばよかった、本当はね。

市川主任専門員 署名がですね、6,000 人ぐらいは自筆の署名だと我々カウントしてますけど。

質問者 3 病院跡地のほうでしょ。

市川主任専門員 そうです。病院跡地は 7,100 人ぐらいの市民の方がありました。なぜ市民を見てるかっていうのは言わなくても大丈夫だと思いますけども、市の施設ですし、まず市税で作るのが基本なわけですから、市民をカウントすると 7,000 人。市外の人も含めて全国から 1 万人以上の署名をいただいたということです。

質問者 3 そのぐらい出てきたってことでしょ。

市川主任専門員 ですから、この署名は非常に重視して、署名で書かれる内容を踏まえて色々変えてきてるわけですよ。それはご理解いただけますよね。仮にその 7,000 人の市民に、15 歳以上の市民 5 万 1,000 人くらいいるんですよ、15 歳以上で 5 万人くらい。そのうちの 7,000 人が仮に署名したと。それ、貴重ですよ、それは貴重ですけども、駅がいいと言っている人たちもいるわけですから、7,000 人は言ったからっていいとも言えません。書いてない人はもっといるわけですよ、当然。そうすると、無作為で、先ほど言ったように、無作為で 3,500 人に出したんですよ、

質問者 3 まず、じゃあ、今、いい。まずいいから。あと 1 点。3 月 15 日の広報、この表さ、これ大体決まって印刷出すのは 1 週間以上前に出すのか。というのはね、3 月の定例議会で質問した議員がいる。そのときにはもう決まってたってことでしょ。だから。だってこれ印刷するんだから。だから、印刷の、

高橋次長 一旦お話をさせていただいてよろしいでしょうか。多分議会中の一般質問に対して今検討していると答弁した後に、議員説明会をさせていただきました。議員説明会でまず公表させていただいてから市民に公表するということで、議員説明会が終わった後に、私たち職員が決まってから全部書きました、

市川主任専門員 印刷はすぐできるんですよ。今の広報は市の広報担当がパソコンで、もうここで打ちます。それが印刷屋さんに行けば、もうすぐ行くんです。それをデスクトップパブリッシングといいます。

質問者 3 だから、定例議会に出て、すぐこれが出たから、ここに来てる病院跡地の人たちは、えっ、もう決まったのって思いますよ。

高橋次長 おっしゃることもわからないではないんですけども、その部分、私たち、議員説明会でちゃんと一般の方に説明させていただくことを議員にご了承いただいてから私たちは作業を進めました。そこだけご理解いただきたいと思います。隠していたわけでも、準備していたわけでもなくてですね、やはり議員説明会で議員の方々にご説明させていただいてから私たちは準備しました。市川が喋ったとおり、今広報については市の担当職員が全部作って印刷は出しますので、ぎりぎりまで大丈夫です。この原稿につきましては、私たちが正直申し上げまして決まってから作ったものですので、その部分だけは私たち職員も頑張ってるなということでご理解いただければと思います。

質問者 3 はい、お疲れ様です。

質問者 4 先ほど色々意見が出てるんで、私もほぼ賛成してる部分なんですけども、第4回審議会、2月15日からわずか1か月後の広報はなまきで、3月15日の広報はなまきです。市は市民会議の結果を踏まえ、JR花巻駅前を建設候補地として選択とあり、AIを活用したヒアリングシート、これは参加者が65人という非常に少ない数なんですけども、これ見ますと、10項目中明らかに駅前が5項目、明らかに病院側が5項目ということで非常に拮抗しております。ただ、人数に若干多い少ないはありますけれども、トータルの65人では非常に拮抗しているということになります。それで、その中で明らかに駅前が良いとする第1位のアクセス項目については、交通機関の利便性が高い都会をベースにしたもので、当市の実情とは全く乖離しております。図書館の利用者の大半はマイカーを用いることが予想、予測されます。したがって、公共図書館は本来の目的である学び、文化を育む施設として、病院側は駐車場が広く、閑静です。閑静かつ緑地をよく、JR花巻駅からも至近距離であります。図書館整備の基本方針である全ての市民が親しみやすく使いやすい図書館や生涯学習の重要性に鑑み、まなび学園に隣接した病院側は100年先を見据えた理想像でもあります。

 広報はなまき3月15日付けで市当局が市民会議の結果を踏まえて駅前を建設候補地として選択したことがより多くの市民の賛同を得ることはできたものか、大いに疑問であります。ここまでこじれた以上は、例えば私案でありますけども、期限を設け、当該市民、居住者ですね、先ほども出てますけども、15歳以上になる市民投票の結果を反映した方向性を決定すべきとも言えると思います。以上です。

高橋次長 ご質問の内容ですが、市民投票した方がいいんじゃないかっていうことでよろしいでしょうか。

質問者 4 ここまでこじれた以上。

市川主任専門員 これまで市議会においても双方の意見がありますよということはお話ししてきておりますし、その上で、候補地、どちらかに建てた場合にこれぐらい経費かかるっていうのも調べてほしいっていう意見があって、そうやって進めてきたわけですね。そうやって、あとは、市民会議も開いてその方々の意見を聞くっていうのも、市議会の了承を得て、予算かけてやってきてるわけです。そうやって、市民会議の考えを重視しますっていうことも何度も表明してるんです、言ってるんです。そうした上で、市民会議の結果を尊重して、私たちがこうやって進めてきたということです。

 この上で、例えば住民投票などをするとすると、当然時間もかかりますし、条例を設置しなければいけない。そして、経費っていうのは選挙と同じくらいかかります。あと、選挙と違いまして違反をどうするか、規定をしっかりと決めなきゃいけないことです。時間もかかるし、お金って何千万かかるか、ちょっと何千万レベルになります。それだけのお金かけてやるんですかっていうことになります。我々、これまでも住民投票したらどうだっていうご意見ありましたけども、説明してきています。ですので、こうやって進めていきましょう、市民会議のご意見を踏まえて決めましょうということを書いてきていました。そこをご理解いただきたいと思います。

質問者 4

じゃあ、今の部分はとりあえず了解します。前段の方のアクセスについてですね。花巻ははっきり言ってかなりの田舎ですよ。これの実態を踏まえた中でこの市民会議の 422 人の方がアクセス 1 番多く賛同してますけども、大半の方が、買い物から職場から何から何まで車を使ってる方が圧倒的に多いようです。わざわざですね、図書館に来るのにバスや電車使って、あるいはタクシーとかって高いお金で出して来ますか。だから、このアクセスというのは AI がやってるけども地域の実態には全くかけ離れていると。

市川主任専門員

アクセスというのはですね、AI がアクセスって決めたわけじゃなくて、これは市民会議の皆さんが、メリット、こっちのメリット、駅の方のメリット、あるいはデメリット等を考える中で、参加された方はご存じだと思いますけど、それを出してる中で、班ごとにこうまとめてきてるわけですけど、アクセスという観点が場所を考える上で重要だよと参加者の皆さんが決めてきたんです。それを集約して、集約したのが AI というだけです。つまり、参加者は立地場所を考える上で、どこからもアクセスがいい場所が重要だって考えたわけですよ、1 番。その観点で考えたのは、病院じゃなくて、駅前が最もいいんじゃないかというのが 42 人になったということです。それは市民の方々がそういう風に考えたってことです。そこはご理解いただきたいと思います。

質問者 5

今日来てる方ほとんどの方がその花病跡地の方がいいんでしょうか。私は駅前の方に決まってすごく良かったなと思います。ここ工事してる間ずっと通ってるんですよ。この間すごい音で工事してました。掘り起こしたりして、すごい埋め立てましたよね。もうめちゃくちゃな傾斜地だったんです、あそこ。それを埋め立てて作って、また第 2 駐車場もあのまま残ってます。あれ、崩落の危険はないんですかね。で、また傾斜地。危険なところに囲まれてますよね。で、そのところはすごい傾斜地で埋め立てた上に傾斜地、危険地域。しかも草ぼうぼう。あれ、草刈るのにも金がかかりますよ。すでに 3 億かけて、土地を所有して、これから先もずっとお金がかかります。ただただ、駐車場が多いという 1 点のみで、それだけ花病跡地を推せるんですか。この資料の 10 ページ、11 ページで、もう要望が全て、あなた方の要望は全てここで叶ってるじゃないですか。違うんでしょうか。そして、そもそも駅前で決まっていたものを花病跡地といういろいろな運動して、これだけ時間をかけて揉めさせたのは誰なのかとも言いたいです。すでにもう建ってたんじゃないですか、揉めなければ、そのままやっていたら。駐車場のこと言いましたよね。駐車場、元々の花巻図書館の駐車場、あそこ建物なくなって今増えてますけど、20 台くらいしかなかったんじゃないですか、そもそもは。それなのに、駅前いっぱい駐車場できたらいいじゃないですか。この埋め立て地で、傾斜地で危険な大雨とか降ったら、大地震があったらどうしますか。それに大きい建物建てるんですか。命どうなります。駅前の土地は盤石だということをごどこかで聞きました。これは私の意見、数少ない駅前の駅前候補がいいと思っている、私の意見です。

この資料なんですけれども、3 ページ、貸し出し点数があるんですけども、これ、今実際には 10 冊貸し出しできてますよね。4 週間になっています。新図書館は 15 点

だけでも、3週間に減っているんですよ。これ、15点も借りられるのに、ちょっと1週間も減るとなんか損した気分があって。

梅原室長

今の図書館で10点借りて4週間については、コロナの前、1つの図書館では5点で、4館で10点借りることができて2週間でしたけれども、コロナのときにあまり外出しないように4週間に延ばした経緯があります。その後、元に戻さないでいると思うんですが、4週間にしたことで、人気のある本、予約の本をすごく待ってるんですね。前は2週間だったので、予約の人も回転よく借りられたんですが、それが4週間になるとなかなか次の人が借りられないという問題もあって、それで3週間と設定させてもらいました。

質問者 5

住民投票とかそういう、これ以上時間もお金もかけないで、早く決めてほしいと思います。駅前に。

質問者 6

まず初めに、私は、ここに建てるべき。駅は、そういう人もいますけれど、こちらのほうに建ててほしいと。まず最初にですね、なんで市民会議の意見はここに載るのかっていうことです。こういう形で載るのかっていう。市民会議は最初4日間やりましたよね。4日間やりまして、それでお互いに批判させないで意見を取ったんです、最後にそして、こそっとまず書いた。こそっと書いたっていうか、書いてくださいってことで。それがどうしてこれが出てくるのかっていうことです。こういう形で。

市川主任専門員

おっしゃったとおり、市民会議の結果を載せないで、市がこうしましたって言ったら、なんでそうやって決めたんだって言われますよね。これは、市民会議の意見を踏まえて、我々は決めますと言ってきたわけですから、

質問者 6

それがなんでわずか40何人のあれが出てくるのかっていうことです。まず聞いてください。私は、40何人の意見はそれは出してもいいですよ、いいんですけれども、片方は6,000なんぼの意見があって、何にも反応ないですよ。あなたたちは6,300、市長が見たって、見たって言いますけど、6,300の見返りっていうのは何にもないです。何にもない。

市川主任専門員

はい、署名で7,000人の方々、市民が出されているのは本当に尊重して、我々は、先ほど来申しますけれども、中身を踏まえてきてるわけですよ。市長への手紙とか。我々の事務局にも駅の方がいいとおっしゃる方はたくさんいて、手紙とか来てる、

質問者 6

普通は、6,000なんぼの考えなら、一応それなりの意見があるんじゃないですか。市長何もなし。何もなしっていうと、まず、まずこういう気持ちです。

令和2年にね、日報でこの話を聞くわけですが、私たちは。それがいつの間にか12月に撤回しました。撤回しましたよね、この話を。まずそれが一つ。それから、特別委員会で、市の議会議員さんたちが決める会議で、市有地であると、議員さんたちが決めました。その後に50万のなんぼかっていう、月50万円かかるとか言いました

よ、あなたたちは。まず、あれを進めていくのに月 50 万も払わなきゃならないという、そういう話も出ました。

市川主任専門員 いっぱいあるので、ちょっとここまで少しお話させていただいていいですか。令和 2 年の 1 月 29 日というお話は、駅前のスポーツ用品店の場所に図書館を作って、その上に賃貸住宅を作りたいという、

質問者 6 それはわかってます。あなたが言ったっていうことはわかってます。

市川主任専門員 私も言いましたけど、その賃貸する、今の 50 万っていうのは、

高橋次長 すいません、お 2 人とも落ち着いていただいてよろしいですか。すみません、私ちょっとご質問の趣旨がわからなかったなので、ご質問の趣旨、もう一度お願いできますでしょうか。

質問者 6 まず最初に、市民会議のあれは、大袈裟に小さい記事を大きく述べて、小さい記事を、なんでこの言葉が載るんだってということなのに大きく載せている。それを元にして、市は、駅前に決めたと言ってるように聞こえる。

市川主任専門員 そこまでいいですか。ですから、先ほど来お話してます。2 か所の候補地があると。2 か所の候補地、大丈夫ですよね。病院跡地と駅前の候補地があると絞られてきたわけですよね、2 か所に。そして、それを決めるために、市民会議、無作為で抽出した市民の方々の意見を聞いて決めますというふうにお話をしてきたわけです。それを広報に載せて、

質問者 6 なんで、そしたら、皆さんに喋ればいいんじゃないですか。40 何人、市民会議の参加している人に。はい、これをこういう風に決めますので、意見を出したらこういう風にね、決めますよ。喋ればいいんじゃないですか。

市川主任専門員 皆さんに喋ってますよね。ですから、駅前に決めますっていうこと表明してますよね。

高橋次長 質問の趣旨なんですけども、今ご質問いただいているのは、市民会議の参加者についてのご意見ですか。それとも、何に対してのご意見か、

質問者 6 市民会議をですね、ある 1 つの原因になってるのは、市民会議の意見なんです。市民会議の意見っていうのはそんなに大きくはない。

市川主任専門員 大きいです。

高橋次長 待ってくださいね、ご意見の趣旨は、市民会議の意見っていうのはそんな大きくないんじゃないかと、市はどう考えてるのかっていうのに対してお答えする、

質問者 6 市民会議の意見がなんで、

高橋次長 大きくなるのかっていう。

質問者 6 市長が言うことになるのかという。

高橋次長 わかりました。質問の趣旨としては、市民会議の意見をどうしてそこまで大きく取るのかっていう理解でよろしいですか。

質問者 6 まずまず。それに対して、6,000 何人に対して全く何もないっていうのは片手落ちだっていう。

高橋次長 6,000 何人っていうのは署名のことでしょうか。

質問者 6 そうです。

高橋次長 質問の整理をさせていただきますと、よろしいですか、質問を整理させていただくと、市民会議と 6,000 の署名の扱いという理解でよろしいでしょうか。はい。一旦それで回答させていただきます。

質問者 6 色々言ってきたけども、最後に、立体駐車場まで行きました。ずっとこう、経過を見てみますと、その都度意見引っ込めてるでしょ、立体駐車場でしょ。最後に立体駐車場ですね。

高橋次長 こちらから回答する事としては、市民会議をなぜそうやったかという部分と、署名はどう考えてるかという部分、立体駐車場はどうなのかという質問の趣旨でよろしいですか。

質問者 6 立体駐車場も、今は引っ込めましたよね。立体駐車場は言いましたから。立体駐車場、その前は橋上化も言いました。ほかのはみんないったのに、

高橋次長 すみません、ご質問の趣旨が。ちょっと確認させていただいてよろしいですか。今、3 点ご質問いただいたというふうに司会の方では理解しているんですけども、1 点目は、

質問者 6 そういう風に言われたら困るんですけど。止めます。

梅原室長 一つ目の、どうして市民会議のご意見をそんなに重く受け取るのか、

質問者 6 結果そうでしょ。何も言わないで、

高橋次長 すいません、一旦答えさせてください。

梅原室長 市民会議の皆さん 3,500 人の無作為抽出というお話はしました。市内全域から 3,500 人を無作為抽出してるので、その中には、駅前がいいという方もいらっしゃるでしょうし、病院跡地の方がいいとおっしゃる方もいらっしゃると思います。その中で、参加を希望されて話し合っていたいただいたので、その中には、病院がいいとおっしゃる方も含まれてる。

質問者 6 で、それが大きくなるの。なんで市長が市民の意見が駅前だっていう風になるの。

梅原室長 その市民会議で参加した方々が 4 回にわたって 4 時間、

質問者 6 それはわかってる。わかってるんですよ。なんで市長が決める材料になるのか。

梅原室長 市長が決めるというか、先ほど市川も言った言葉と、繰り返しになって申し訳ないんですが、無作為抽出して 3,500 人にご案内を出して、参加をしてくださった方たちに、同じ資料を見ていただいて、それぞれの場所について、メリットとデメリットを、

質問者 6 それはわかるよ。それでなんで市長が、

梅原室長 そこで話し合っていて、自分の意見をまとめていただいたご意見、それは、市としても重く受け止めて、

質問者 6 どうして重くなるの。

梅原室長 無作為で抽出して、ご案内を出して、4 回、4 時間来て、話し合ってくださいました方々のご意見は、市として、やはり、貴重なご意見だと思っております。署名いただいた方々の請願内容もそれはとても貴重なものと思っておりますので、できる限りのところで計画案に生かしてきたところでございます。立体駐車場については比較調査を行いました。2 か所の場所について、事業費やイメージパスなど比較調査の段階で、図書館に必要な駐車台数を調査した時に、その台数をまかなえるかということもコンサルが調査して、立体駐車場にしくなくても平面駐車場でも大丈夫だということで、今回平面駐車場にしたところです。

質問者 6 立体駐車場はあんなに言ったことは嘘だったってことですか。
言ったんじゃないですか。あなたたち。

高橋次長 立体駐車場は今の計画ではございませんので。

市川主任専門員 取り下げたとかなんとかってというのは、皆様のご意見があって、立体は使いづらいついていう、署名にも書いていたじゃないですか。そういうのを踏まえて、じゃあ、

平面、皆さんがそう言うから、そういうのを踏まえているわけです。駅前の賃貸住宅を上につけるっていう図書館も反対の皆さんがあつて、そういう声があつたからやめたんですよね。これから考えて調査していきましようって言ったのに、反対の意見が多くてやめたんですよ。他ではありますよ、はっきり言って。東京とか山形とかでもやってます、複合施設。

高橋次長

ちょっと今の質問、整理させていただくと、立体駐車場はもう計画としてございませんので、その部分は決定の時に駐車場として別に設定させていただきましたので、一旦この質問は切らせていただきます。申し訳ありません。

質問者 7

すみません、私は無作為に抽出された者ですけども、1度も行かないで結局終わってしまいまして、本当にこの場で色々こう、わからないことだけたくさんありますので、お伺いしたいと思います。3点お伺いしたいと思います。

まず1点目は、その市民会議の中でのいろんな10の項目のことで、視点が挙げられているんですけども、これはその時に多分おそらく出された中でこう10選んだものだと思うんですが、どうにもこれちょっと乱暴な気がするんです。例えば、アクセスとか活性化とか安全とか周辺環境なんて、先ほどのご質問の中にもありましたけども、どうにでもなるっていうとおかしいですけども、場所によって変わりうるものなんですよね。アクセス、例えば病院に建設した時も、駅からシャトルバスを出せば解決できるじゃないですかとか、そういうどこに決まってもいいような項目と、その土地の広さ、かかる費用、これは変えられないですよ。これを同じ比重で上げてるのはなぜかっていう。当然変わってくるのではないかと。これ、まず1点目。

2点目ですけども、まずあの、1番、ざっくり言うそうですね、例えば今、もし今この基本計画案を撤回するとしたら、どういう手順であれば市の方では考え直していただけののか、例えば市議会で否決されればなくなるのか、そこら辺はちょっと単純に伺いたいと思います。まず、じゃあ2点お願いします。

市川主任専門員

1つ目の質問の10個の項目というのは、先ほども少し申しましたけども、参加者がメリット、デメリットを書いてもらったわけですよ。で、グループで考えてもらって、例えば駅前だったらこういうメリット、アクセス、例えばバスがあるとか、電車もあるとかって、アクセス面はいいんじゃないかっていうのでアクセスで出てきますし、病院跡地だってアクセス面で、例えば東側から来るには道路も近いとかですね、やっぱり図書館はアクセスっていうのは重要だよねと言うのは、もうその段階で、アクセスというのができてくるわけですよ。11班の中で、やっぱりアクセスが、メリットとかデメリットとか書いてるのが出てきたりとかってというのが、10個になったということなので、こちらで10個決めてるわけではないです。まず1つ、それです。

先ほどおっしゃったように、シャトルバスを出せばいいんじゃないかということも、そのデメリットの対策案として出してもらってます。当然、こちらは駅からちょっと遠いけどもどうなんだ、いや、バスを病院跡地まで運行させればいいんじゃないかとかいうようなアイデアも当然出してもらってる。それ、皆さんで見てるんですよ。それを対話した上で、最終的に、じゃあどっちがいいか、そういうアクセス、

活性化、文化・歴史だって重要だと出してきた人はありますよね。そういう視点が出てきているわけです。それについて、じゃあこの視点から言えばどちらがふさわしいかと考えていただいて、最後の4回目で、順番をつけてもらったわけですね。図書館においてどれが最優先なんだろうってなったのは、アクセスだったということです。

2つ目の基本計画がどうすれば撤回になるか、基本計画については、今案になっています。これについては、市と教育委員会で決めることになります。議会での議決というのは、基本計画では必要ありません。市と教育委員会で決めることになりますので。事務作業で決まるということと変ですけれども、まずそれで決まったとして、議会では設計等に関する予算を出す。議決をいただかなければいけないという形になります。そこで否決ということになるのであれば、できないことになりますけれども、できる限り我々はきちんと説明した上で、皆さんのご理解をいただいて、市議会の皆さんのご理解もいただいて進めていきたいと考えているところです。

質問者 7

ありがとうございます。今の観点なんですけれども、2か所場所候補として挙げられてあったのですけれども、先ほど駐車場のお話もありましたが、おそらく不法駐車、例えば図書館に停めておいて駅を利用するような、そういう方がいらっしゃる、多分、今、宮古市あたりでやってる、図書館でしか、図書館利用者しか使えない駐車券とかそういったものを発行するシステムが必要になってくるかと思うんですよね。そういったものが建設場所によって変わってくる可能性があるんですけれども、それはどこの形で、どういう形で提供されるのか。先ほどの窓開けられないような、例えば、電車がうるさいからっていうけど、そしたら窓開けちゃダメですよね。例えば窓開けられないような設計しなきゃいけないですね。そうすると、建設する場所によって費用の違いが出てくると思うんですよね。で、そういった形はどういうところで示されるのかといったところも教えていただければ。

市川主任専門員

駐車場については当然市民会議の皆さんも同じような意見があって、駅ですと図書館があっても図書館専用ではないので、それはちょっと手数かかるんじゃないかっていうご意見はありますし、その対策としてやっぱり色々考えてくれる市民会議の方もあって、その駐車券みたいなを出したらどうだとかですね。他市の事例では、図書館利用者は無料にできるというようなシステムがありますので、その他の人はお金払うということは、可能ではないかと思ってます。一方で、例えばこっちに図書館建てたとしても、図書館利用しないのに使う人が出るんじゃないのという意見を言う方もいました。そういうこともきちんと市民会議の皆さんが、対話で話しながら皆さん真剣に考えてくれたんですよ。そういう中で出てきた結果ってということです。

あと、窓があるかどうかっていうのはまだわかりません、そこは設計で。ただ、他市の例でも、白河とかはですね、電車の線路側に閲覧の窓があり、白河図書館に聞いたところ、窓開けてると言うんですよ。夏場に窓を開けてもそんなに気にするほどじゃないという話でしたし、いろんな事例があります。そういうのも参考にして設計で対処できるんじゃないかっていうような専門家の意見をいただきました。ありがとうございます。

色々今までのこの議論を聞いていたところ、まず初めに、とにかく穏やかな感じで質問したり、きちんとした感情的にならないやり取りであってほしいなと、このように思っているところでございます。

さて、今議論になっているところは、市民からの要望、署名等への対応ということから始めたいと思いますが、抽象的な理念の問題をまず抜きにして、具体的な問題、例えば土地の問題、これは病院跡が傾斜地で非常に危険であると、今後どのような災害が、地震等が起きてくるかわからない。それに対するまた手当の仕方の土地造成が必要になってくると費用が膨らむということになるかと思えます。そういうことは1つ1つ対応してクリアしてきていると、このように感じ、思うところでございます。

それからもう1つなんですが、駐車場の問題。駐車場の問題は当初、立体駐車場ということで、これは高齢者にとっては非常に使いにくいと、これをも平地にするということでクリアされた。このような形で、1つ1つですね、市の方では、私の思うに、この8年間かかって対応してきている。そういうことでありますので、今問題は、過去が市長がこうだった、あるいは何年前にこういうことを言ったんじゃないかと、そういった問題点が指摘され、それ1つ1つ長い年月かけて、クリアしてきているというふうに私は認識しました。

それから、署名の問題でございますが、確かに署名活動は、これは民主的な手続きで大変有効な手段であり、署名を受け取った市の当局はそれを尊重しなければならないというのは当然のことですが、署名は、署名をやる人が1人1人をお願いして説得してくるわけですね。そして6,000あるいは7,000ということになります。その数と、今我々が議論しているところの市民会議、市民会議は3,500人を対象として、その中で60ですか、50ですか、それが手を挙げて参加したと。3,500人の中のその50人、60人というのは、この問題についてかなり意識を持った人、高い人だと。で、それが4回を重ねて、議論をして結論を出した。市民の、市民会議でこういう風に考えますよと。それを考えてみれば、当然、いわゆるいろんなところで諮問会議とかあるいは意見をいってくれと、そういうのを持って、それをまた尊重するというのがある。で、だから、6,000、7,000人の数とそれから市民会議のメンバーの数、それを単純に比較して署名の方が多いだとか、そういうことには民主主義の行政の趣旨として、私は成り立たないと、それやってはダメなんだと。最終的に責任を持って決断するのは、議論して賛成するのは議会であると。ということで、この説明会の下に、議会議員に対して説明会を行いましたね。その時に多数によって市民たちの、了解というのか、あるいは承認するというのか、そういう形になっているはずです。したがって、それを受けて市はこの広報で市民にお知らせをしたと、このように判断しました。で、責任は、確かに市長が責任を持つわけですけども、その責任、市長の判断に基づくものが、我々は、こういった話しているところ、それから議会の審議が多数でもって承認したということであれば、民主的手続きとしては当然、これは妥当なものであるというふうに私は考えます。

そしてこの間、あともう少しですが、この2か所の新図書館の建設地になって、この花巻市の中で非常に特徴的、これまでの市の行政の政策的という点、これを書いてある。これは非常に特徴的なことは何かというと、若い世代が意見を申し上げている点。特に高校生。それから、その高校生が、図書館行政、あるいは図書館建設、図書館の意味について専門的な知識を持った、私もちょっと面識があるんですけども、富

士大学の早川先生、あるいは4回にわたって高校生とともにワークショップをやって、いかに現代の図書館があるべきかというようなことを議論した。

そしてもう1つ、昨日、実は今日説明があるということで、ホームページ見てちょっと驚いて、すごいなど、これはいいことだなと思った。この Book Marks、これが高校生もそうだし、大学生もそうだし、そして20代ですね、社会人も含めて発言して、要望し、提言している。これは、今までこの花巻市の中でかなり珍しいこと、あるいは初めてかもしれません。というようなことで、この若い人たちが図書館の設置場所について、駅前がいいと。それはなぜかと。若い高校生、大学生は免許持っていないですね。すると、学校の帰り、駅に早く帰ってきたと、ちょっと図書館に行ってみようかなと、あるいは親が迎えに来ると。じゃあ、迎えに来るまでの2時間、3時間ある人もいる、その時に図書館で勉強できるようになると、そういう風な形になります。そういう具体的な話は、若い人たちの Book Marks の中ではですね、このように具体的に言及されているんですよ。この施設が駅前に誕生することで、花巻の新たなシンボルとして、駅前を起点に花巻全体の活性化につながっているんじゃないかと。

高橋次長

大変申し訳ございません。ご質問待っている方いらっしゃいますので、ご質問の趣旨だけ頂戴してよろしいでしょうか。

質問者 8

かなり建設場所についてはですね、駅前が67パーセントの賛成があったというようなこと。これから花巻市を担っていく若い人たちの意見を最大限に私は取り入れてほしいというように思っています。更に市民会議において、若い人だけでなく市民会議のメンバーは各年代がいますよね。

高橋次長

すみません、多くの方にご意見ご質問いただきたいと思いますので。

質問者 8

はい。すぐ終わります。というですね、そういう観点から考えますとですね、これは、あとはこの決定した場所について、あるいはもう具体的に粛々と計画を推進していただきたい、このように思っている、考えているところでございますので、ひとつまた冷静な、感情的にならない意見表明あるいは質疑応答というのをしていただきたいとこのように思います。何かはじめにありきということで皆さんここに参加してるんじゃないかなというふうに思いますが、そういったことはあまりこの場合、花巻市民としてはいかがかなというふうに思っているところでございます。以上です。

質問者 9

新花巻図書館を考える会で署名を一生懸命集めて、花巻病院跡地がいいという意見をいっぱいいただいて、全国の同級生、小学校、中学校、高校、その後の同級生とか知り合いからも、宮沢賢治のふるさとでこういうことが起こっていたら、あの、環境のいいところにいるんだったら、それをできたら見に行きたいということをやっと前から言われておりますが、なかなかできておりません。それで、今まで色々見ますと、そのためにコンサルタント料をかけて、事業費の比較して、1億2,000万も費用が駅前の方よりこちらの方が安かったのに、なぜそちらの駅前の方になったのかということが一点と、それから、先ほど来ずっと聞いていると、市民会議の意見を踏ま

えて決定するのではない、建設場所を決定するのではないと言いながら、それをこじつけて、全てこの広報に市民会議、市民会議、市民会議の意見を踏まえてと書いています。だから、それで6、7,000の市内の署名の数よりも少ない人数のもので決定しているということがやっぱりおかしいと思います。

そして、環境的に、駅前には電車や貨物列車や騒音がすごいし、緑がない、木がないし、花も咲いていません。ここはすごく静かで環境が良くて、まなび学園はしょっちゅう私たちもいろんなサークルで利用しておりますが、とても落ち着いて皆さんがここを利用してる。皆さんが花を植えたりして環境を作ってるからとてもいいです。そして山も早池峰山も見えますし。で、花巻病院跡地にあまりしたくないような話っぷりに聞こえるんですけど、それは何か花巻病院跡地に作る、作りたいとか、これから計画していくことがあるのでしょうか。それを説明をしていただきたいと思います。

市川主任専門員 署名については、先ほど来申しておりますけど、大変貴重だと思ってますし、そこに書かれていることを本当に踏まえて私たち考えてきたっていうことであります。

質問者 9 これが1億2,000万だったんですか。

市川主任専門員 金額が、こちら病院跡地に建てた場合と駅に建てた場合の事業費も全てその市民会議の皆さんにご説明した上で、その方々が考えてます。市民会議が決めるんじゃないですよ。市民会議のご意見を重視しますということは何度も言ってきました。市民会議の皆さんのご意見を踏まえて、私たち考えて決めますよっていうことを言ってきたんです。それで、議会で承認を得た上で進めてきてます。それで、市民会議の皆さんのご意見でこのように決めたということです。

署名も本当に貴重だと思っています。先ほど来言ってますが、市民全体15歳以上は5万人いるわけですが、その中でも7,000人は署名してるってことですよね。単純に考えればですね。3,500人に、我々、無作為で抽出した3,500人に市民会議で図書館の場所の意見を聞きたいって出したわけですよ。そうすれば、署名した方々5万人に対する7,000人程度ということは、300人から400人には送られているんです。市民会議に参加しましょうということで。事実、署名された方々も参加してましたよね。市民会議に参加しているんです。そういう皆さんにしっかりした情報を考えてもらって、対話してもらった上で出てきた結果がこうだったってことです。そうやって私たち判断しますっていうことを事前に説明して、そうやってきますよっていうことを言って、今回このようにしたっていうことなんです。ご理解をいただきたいというふうに思います。

質問者 9 1億2,000万安い方にならなかったのはどうしてかっていうことと、病院跡地は何かに使いたくて駅前の方を力説しているのでしょうか。

市川主任専門員 病院跡地についてはまだ決まっていません。先ほど少しご説明しましたが、3億2,000万で買った土地です。それについて活用はできますし、それは資産として考えてますよっていうことです。この1億2,000万が高いけどっていうことについては、市民会議の皆さんもそれ説明してるわけですよ。市民会議参加者は、とりわけ署

名されてる方もいるんですよ。その中で、いや、1億2,000万高いけども、駅の方がいいっていう風に考えた人が多かったっていう風に我々は見ました。

質問者 10

私は何人か今日お話をしましたけど、私も駅前を支持します。あんまり図書館建設が先延ばし先延ばしになると、心配じゃないですけど、できる前に死んでしまうのかなと思って、残念に思います。ぜひ早くできてほしいと願っております。いつできるか、その前に自分が死ぬかなと思って話をしますけど、やっぱり、先ほどの方の話にもありましたが、子どもたちが大事だと思っています。やはり今、本当に、中心市街地はもちろん、郊外にも子どもが減ってしまっている。あるレベルまで、あるレベルはもう引き返せないところまで来てると思ってますが、問題は、せっかく花巻で育っても、遊びに行くのは北上だったり盛岡だったり、仕事では仙台や東京に行ってしまうというようなすごく残念なことが起きてますけど、でもやっぱり、宵宮だ、花巻まつりだとなればすごい人が集まる。こんなに人がいたんだな、子どもがいたんだなということをいつも再確認しますが、やっぱり子どもたちが、市内で滞在する、思い出を過ごす、それも日常だと思うんですよ。日常の思い出を作ることからすると、花中はもちろん西側ですし、南高校、東高校、それから北高校と、場合によっては花農の子や、青雲高校にしてもですね、駅周辺の方が使いやすいだろうと。もちろん、大迫の子はバスで来るんでしょうが、そうだとすると、やっぱりバス停のある駅前の方が使いやすいだろうというふうに思います。発展的なことを考えた時に、私は駅前を支持します。

また、私、若葉町の図書館も好きで、時々使うんですけども、先ほども話ありましたけど、そんな駐車場が多くなっても今までは使われてきました。子どもたちは自転車ですしね。なので、私は駅前を支持します。特に質問はありませんが、頑張っていたきたいなと思っております。

質問者 11

よろしくお願いします。資料に関する質問は5つあるんですけども、その前に、ちょっと今までに意見を述べられた方々のお話を聞いて思ったことがあったので、それについてちょっとお話ししますけれども、駅前の署名がないじゃないかということでしたけれども、市の方で駅前という案を出してるので、駅前を支持する方の署名がないのは当たり前だと思います。

それから、アクセスについてですけども、私は元々駅前派でも病院跡地派でもなく、今の若葉町のところにあればいいなと思ってた人間なんですけれども、病院か駅前かとなった時に、もし病院跡地であれば、今車で出かけてますけれども、免許返納した時には、もし病院跡地に建ったらば、図書館に来るのはもう諦めようと思ってました。バスであれば駅まで行けますけれども、病院跡地であれば、ちょっとここまで歩く自信はないので、もう歳取ったら図書館を諦めようと思っていましたので、駅前ということであればいいなと、思っていました。

それから皆さん、市民会議について、人数が少ない云々、署名の方がもっと多いというお話をされてますけれども、そもそも署名の内容と市民会議の性質自体が違うものですので、市民会議の方は、それぞれ参加された方は自分がどちらがいいと思うことはあったとは思いますが、それぞれについてメリットもデメリットも出して、デメリットについては、それを解決するためにどうすればいいかということをした

くさん話し合われてるのを資料で見ましたし、最終的な自由記述には、これだけ話し合ったのだからどちらに決まっても納得できますという、とても充実した内容の感想を書き書かれていましたので、人数が65人だからということで特に矮小化して評価することはないと思います。逆に、もし市民会議の方で病院跡地の方が多かったら、今病院跡地を支持されてる方は、やはり市民会議の65人は大したことないよねっていうお話をされるのかということになりますので、そこは、署名と市民会議の内容を比べる必要はないかと思います。

私が聞きたいことに入りますけれども、資料の2ページで、人口1人当たり貸し出し冊数目標と書かれていますが、それから、こちらは現在の市内にある4館の合計の数字で、(2)の年間来館者目標の方は新図書館の分だけになってるかと思いますけれども、この新図書館の来館者目標数がオープン1年後の登録者割合40パーセントを基に計算されてると思われるので、ちょっとこの2つの(1)の(2)の数字の絡みがですね、なんかわかりにくいなと。これは感想です。

それから、個人貸し出し登録者割合、オープン1年後に40パーセントになってますけれども、ホームページの方で公開されてる資料見ますと、石鳥谷と東和町はすでに40パーセントを超えていて、花巻と大迫がそれぞれ23、24パーセント、25パーセントと少ない形になってますので、オープンまでの5年間、6年間、その間に、花巻、大迫、特について、オープンまでの間にその貸し出し登録者割合を伸ばす計画とかを別に立てているのかどうか、ちょっとお伺いしたいなというのが1つ目。

それから2つ目が、開館時間なんですけれども、4ページの開館時間ですが、新図書館の9時半から19時というのは、これは閲覧スペースのことかと思いますが、そうすると、学習スペースの時間が9時から21時ということで、頭もお尻も違う時間になっています。そうすると、学習スペースを使う方は、夜であれば19時以降は閲覧スペースを通らないような形にするという設計に関わってくる部分もあるのではないかなとおりますので、この閲覧スペースと学習スペースの開館時間を別に考えてその時間に設定した理由があれば教えていただきたいです。

3つ目ですけども、6ページです。下の方に、喫茶スペースを作るということですが、これは単に飲食できる、例えば自販機があって、自分でおにぎりとか持っていって食べるというところなのか、カフェであればテナントとしてスペースを貸し出すということを想定しているのかをお伺いしたいです。

それから4つ目が、8ページの下にある図ですね。ここに何が、この中に芝生広場があるんですけれども、これはなぜ芝生広場が必要なのかと思っております。多分、雨、風、春の花粉、夏の暑さ、冬の雪、全部ダメだと思うんですけれども。かつ、ここは今現在融雪されてる歩きやすいところを、ここをわざわざ掘って、あまり使えないだろう芝生で多分ランニングコストもかかると思うので、これを作ることが必ず必須なのかどうかですね、教えていただきたいです。

もう1つ、最後ですけども、事業にあたって合併特例債を使う、15億円使う予定のようなんですけれども、花巻市は特例債を使える期限はいつなのか。それから、立地適正化計画にかかる補助金の申請は国交省で申請すれば受けられるものなのか。これは事業費2分の1を見てるようなんですけれども、申請すれば認められるようなものなのか、どう考えてらっしゃるのかをお伺いしたいです。以上です。

梅原室長

ありがとうございます。まず1つ目ですね。貸出登録者割合、石鳥谷図書館と東和図書館はもう40パーセントだけれどもというところですが、オープンまでに新図書館ができるという機運を盛り上げながら、花巻図書館の利用者を増やしていきたいと考えております。蔵書構成も見直していかなければなりません、こういった本を増やしていくかという具体的な話し合いも始めておりますので、できるだけ登録者はオープンまでに増やしていきたいというふうに考えています。

2番目の開館時間については、新しい図書館では、蔵書数も増やしたい、サービスも増やしたいと考えてまして、そうすると、専門的なレファレンスもできるように、司書も増やしていきたいと考えております。そういったランニングコストのところも考えながら、図書サービスを提供できる時間は9時半から19時までにして、学習スペース等は、高校生や社会人の方には、早くから夜9時まで使いたいというニーズもありますので、提供時間を分けたところですが、具体的なスペースの使い方、部屋の使い方については、基本設計等でご意見を聞きながら、考えていきたいと思っております。

3つ目の喫茶スペースは、複合施設ではなくて、単独施設の図書館にしますけれども、交流スペースや喫茶スペースなどは可能というご意見をいただいて、そのようにしますが、テナントを入れるなど、どのような形でカフェ的なスペースを設けるかというところは、設計等で併せて考えていきたいと思っております。

次の4番目、8ページの芝生広場のところですね。ここの芝生広場については市民会議でもいろいろご意見をいただいたところで、ここの多目的広場で、花巻まつりの山車でしたり、いろいろなイベントをしておりますし、融雪設備もございます。ここの使い方については、市民会議でも、ここまで広くなくてもよいのではないか、図書館の屋上、建物の方に少し緑を入れたらいいのではないかなどご意見をいただいているところなので、今後も引き続き設計等で検討していきたいと思っております。

最後に合併特例債ですけれども、市では合併特例債の期限は令和12年度まででございますので、新市建設計画の方、今延長の手続きをしまして、延長すれば令和12年度までということになりますので、それまでに図書館を建てて開館したいと思っております。

高橋次長

立地適正化計画のお話をさせていただきますと、今、立地適正化計画、当初はあまり計画を立てている自治体は多くなかったんですけども、だんだん増えてまいりまして、花巻市以外でも、その補助金を使う県内外の自治体が多くなってまいりました。競争になってきている面もございますので、満額かどうかという部分に関してはまだ確定はできないですが、私どもで補助対象になる部分に関しては準備して、できるだけ多くの補助金を入れたいなという風に考えております。

質問者 11

ありがとうございました。意見の方はパブリックコメントの方にしようかなとは思ってたんですけども、今のご回答いただいて、ちょっとだけ。開館時間なんですけれども、私も職場盛岡で、花巻に帰ってきても、もう図書館閉まって使えないという形だったので、せっかく駅に建つということであれば、ダイヤも考えながら、お尻の方、もうちょっと後ろの方にしていただいてもよろしいのかなと思いました。ありが

とうございました。

質問者 12

ちょっと色々あるんですけども、実は私、宮沢賢治市民の会というところに所属しておりまして、令和3年の3月に、当時生涯学習部長だった市川さんをお招きして新図書館に関して勉強会して色々とお教えていただいたんですけども、その時の資料がここにあります。それで、そのときに、一緒に渡されたもので、これは平成28年なので、ちょっと前って言えば前なんですけれども、花巻市立地適正化計画っていう資料をいただきまして、これを見ますと結局、その都市機能誘導区域で想定している事業、要するに、都市機能をまず充実させて、誘導させて、住みやすいところにしようっていうことだと思うんですけども、その中の1番最初に来てるのは、総合花巻病院移転整備、これはもうすでに終わってます。で、これに伴う高等看護専門学校移転整備、これも現在のことです。次に、花巻図書館、生涯学園都市会館周辺への移転っていうふうに明記されてますよね。あとは、地域生活基盤施設整備、これはエセナ跡地を多目的広場として整備、これもできてます。で、あとは上町花城町線道路整備、これは多分あそこの道路だと思うんです。これも綺麗になっております。で、城内大通り線道路整備、これはまだなのかもしれませんが、また集合住宅整備とか、これ誠山房とかリノベーションまちづくりとか色々あるんですけども、なぜここで、このまなび周辺への移転って明記されていたこの花巻図書館というのがなくなってしまったのかっていうことが1つ。

それとですね、先ほどから市民会議のことを色々とお出されているわけなんですけれども、これ、参加者っていうのは3,500名の中から、最初63名だったのかな、で、これ回を追うごとに減少してるんですね。で、最後は53名。で、この時にアンケートを取って、この時の結果を広報の方に、まあまあやっぱり無作為であっての重要な意見であるからということでこれを採択して候補に出されたと思うんですけども、なぜこういうふうに回を追うごとに減っていったんでしょうかっていうのと、あと、それとですね、この重要項目として10の分類を挙げてるんですけども、これ上位から、1番上の活性化から最後の費用まで、これ、このさっき扱った広報というか、見ていただければ皆さんもわかると思うんですけども、この中でですね、単純に集計して見ると5対5なんですよね。上位と下位。結局無視して、これ10項目全部の採決取れば、駅前の方がいいっていうのが5で、この周辺がいいっていうのが5なんです。ただ、より重要と思うのが、活性化、文化、歴史、地域との連携、周辺環境、アクセスっていうふうになっています。それだけで、あと実際には5対5なんです。イーブンっていうことなんです。で、その1番最初に来ているこの活性化、よろしいですか。この活性化っていうのは何の活性化なんでしょうか。何の活性、何を活性するってことをもって活性化と言われてるのか。これ、駅前の例えば賑わいとか、そういう繁華街とか、そういうこの活性化っていうのであると、このまなびとかこの図書館とか、その文化的な行為っていうのはまたちょっと性格が違ってくるんじゃないのかなっていうような気もするんですね。で、周辺環境っていうのは、どうしてその駅前の方がいいのかっていう、私、単純に考えて、こっちの方が自然がいっぱいあるし、あっちの環境がいいんだっていう、安全面っていうふうにおっしゃるかもしれませんが、この安全面っていうんでしたら、何かあったらここ避難場所になりますんで、このまなびの、こんな危ない場所に避難させるのかって話にも

なってくるし、花巻小学校がこうやって隣接してるし、ずっとあそこにあるわけですから。これ、周辺環境とか安全とかは果たしてどうなのかなって、ちょっとこの辺もよくわからないものです。で、このアクセスなんですけれども、アクセスは、今日ここにかなりの方来てると思いますけども、やっぱりこうやって来ますよね。駐車場は、多分、車で来られてる方がほとんどだと思うんですけども、そんなにアクセスって悪いとは言わない、いや、良いっていうか、やっぱりかなり使われてますね、ここね、まなびという施設が。なので、これをさらに、なんていうか、充実させると、さらにアクセスは良くなる可能性を秘めてるのではないのかなっていうふうに思います。それとですね、このアクセスが、仮に、逆に良すぎると、危険な部分っていうのも出てくるんじゃないかなと。というのは、私、ちょっと知り合いで、この辺じゃないんですけども、東和かな、あっちの方の親御さんが聞いたことによると、もし図書館が花巻駅のところにできたならば、危なくてちょっと連れてけないって言うんです。で、逆に花巻小学校の生徒とか、そういうふうに、アクセスが多くて交通量が多いと、逆にその危険な部分も出てくるんじゃないのかと。これ、基本方針には、子どもから高齢者までっていうふうに、全ての市民に親しまれるようにとありますので、その基本方針をやった時に、その若者も大切だと思います。けども、ちょうどこの基本方針に、全ての市民が気軽に利用できるようにっていうことと、子どもや高齢者とか子どもたちとかね、書いてますので、そこを大事にしてというふうに、もし、なんかあそこで交通事故の可能性っていうのも増えるんじゃないかなと。交通量が多くなる、しかもその時間帯においては。そういう気もします。

高橋次長 すみません、ご質問なんですけども、どこの部分お答えすればいいか、申し訳ありません。確認させてください。

質問者 12 じゃあ、こつ然、こつ然とじゃないんでしょうけども、理由があつてでしょうけども、最初のこの立地適正化計画から、なぜ。

市川主任専門員 平成 28 年に立地適正化計画っていうの、先ほどもちょっとお話ししましたし、私も昔、皆さんにご説明したことありますけども、28 年に、先ほどおっしゃったとおり、まちなかの再生とですね、都市機能を、コンパクトシティと言いまして、もう 1 回集約しましょうという計画が立地適正化計画です。都市機能誘導区域という区域を設定して、その中に図書館を移転したりっていうのが今の状況になってますけども、当時の立地適正化計画では、まず第一に、先ほどおっしゃったとおり、総合花巻病院を厚生病院跡地に移転させますというのが第 1 です。それで、国からの支援を受けるというのがありました。次に書いていたのは、花巻図書館を、病院跡地も含めて、その活用も含めて移転するというのを書いていたというのは、先ほどもお話ししました。その段階では、そういう計画でした。それで、お話もしましたけども、駅に近い方がいいんじゃないかというご意見があつたわけです。病院跡地よりも駅に近い方が利用されるのではないかというご意見が当時からありました。例えば、まなび学園の前に建てる、少しでも近い方がいいんじゃないかっていうご意見もありました。営林署があつた場所、わかりますね、営林署の場所に建てるとか、あと、駅前の駐車場、なはんプラザの東側の駐車場のところ、もう 1 つ考えられたのがスポーツ用品店のと

ころでした。6つの案を出して、検討してきたっていうのがあったんです。

平成29年に今の新花巻図書館の整備基本構想というのを改めてつくりました。これから建てる図書館の構想の根底になるものが平成29年にできてるんです。これ立地適正化計画の後につくってるんです。その構想に基づいて、今計画をつくっているというところです。で、構想の段階では場所を決めていないんです。6か所の場所を候補地に挙げましたので、基本構想の中では、基本計画をつくる段階で場所を定めますと書いているんです。つまり、立地適正化計画の段階では、まなび学園周辺を候補地として、図書館を移転させたいとしていましたが、駅に近い方がいいんじゃないですかっていうご意見もあったので、色々6か所を考えてきたと。その中で、基本構想、図書館の基本構想を立てたわけですね。その段階では場所は絞ってなくて、基本計画、今つくっている基本計画をつくる段階で定めますとしていたんです。ですので、そういう経緯を経てやってきたということです。

質問者 12

これは、あと1つの話。1つはこれに関連してなんですけれども、その花巻市はどうなのかわかりませんが、地方都市っていうか、都市によってはその文教地区条例っていうものを設けてるところもありまして、これは、図書館とか学校とか、そういう文教施設のある、建てる場所っていうのは、例えば繁華街であるとかホテルであるとか飲食店、飲み屋さんっていうのは、この近所にあってはならないという条例を設けている。これは文教地区っていうことに特化して考えるとそういう考え方になるのかなと思うんですけれども、そういった面は考慮されないんですか。これは、さっきの活性化っていうのは何の活性化を目指してるのかっていうのとちょっと関連した質問です。

市川主任専門員

文教地区条例というのがあるかはちょっとわかりませんが、例えば都市計画で、市としては、商業地域とかですね、工業地域とか、ここは第2種住居専用地域と、そういう地域を決めています。駅前には商業地域になります。それはやっぱり市民会議の中でも、商業地域っていうのは図書館ふさわしくないんじゃないかっていうようなご意見もあったんです。ただ、今できてる図書館は他を見ますと、商業地域にある図書館がほとんどです。まちなかは商業地域多いですからね、やはり。ということで、商業地域に建っている図書館の例も含めて市民会議での皆さんは考えてくれたっていうことですし、その活性化というのは、市民会議の参加者が立地場所を考える上では、市の活性化というのとも考えながら、その場所を選んだ方がいいんじゃないのというようなご意見ですよ。活性化が重要だっていう風に捉えてる人の意見では、市全体の活性化に図書館が貢献するので重視した方がいいんじゃないかっていうようなご意見とかですね、花巻に人が増えてほしい、そのためにも活性化っていう観点は重要だとかですね。そういうようなご意見を書いている方がいます。その市民会に参加した人たちも、やっぱり活性化のためにも図書館の場所が重要と考えたのだと理解しております。

質問者 12

あの、市は生涯学習都市宣言をしますんで、それが生涯都市、学習都市っていうのと同様に沿っていくのかっていうことも考慮した上で進めていただければいいんじゃないかなというふうに思います。これは以上なんですけれども。あと、まだなんですけ

ども、あともう1つ、

高橋次長 すみません、多くの方が待っていますので。

質問者 12 花巻市には花巻市建築物等木材促進基本方針っていうのがありますよね。これは広く市民に利用される学校や社会福祉施設、そういう、これ図書館も含まれるんじゃないかなというふうに思うんですが、これはこういった木造促進、基本方針っていうものに照らし合わせながら進められているんでしょうか。

高橋次長 木造木質という部分のお話になると思うので、私の方でご説明させていただきたいと思いますが、そういう方針はございます。図書館についてそれをどうするかという部分、木質と木造という言葉が大きく違いますので、木質というのは、その建物の中に木があればいいような建物と、完全に木で建てている木造というのはございますので、どちらかという、図書館では木質化はしたいと考えていますけども、これから設計でやっていく形になりますので、それも踏まえた上でこれから基本設計をしていくことになるかなと思っております。

質問者 12 防音とかをもちろん考えると、やはりそこに先ほどの鉄道の関係もあると思いますし、その辺も考慮していただければなと思いますので、よろしくお願いします。

高橋次長 はい、その部分は当然考慮して、これから設計の部分で私たちが考慮させていただく部分だと思います。ありがとうございます。

質問者 12 JR は今後、貨物輸送が増えるそうです。

質問者 13 署名実行委員会のメンバーです。4、5 点、ちょっと端的に簡潔に言わせていただきます。まず、基本構想の中で、自然と調和したゆったりしたスペースっていう意味では、駅前よりも跡地の方が自然があり、芝生を作るとか屋上に、屋上庭園とか言うんですけど、ちょっとあまりにも現実的ではないというか、本当にそこで行った人がくつろげるのかっていうのは疑問です。

それと、駅前の方が、前にも説明、市民説明会で問い合わせたんですけれども、近くに変電所があって、高圧線の電磁波が心配で、その早速調べていただいて、東北電力さんから基準値以下ですっていう回答はいただいたんですが、でも、実際に私の周りの人には、何人も、駅に行くとい具合が悪くなる、それから駅に勤めている方が、やっぱりその電磁波で敏感な方は具合が悪くなる、実際にそういう被害というかがあるので、それは子どもたちが行く図書館なので、あまり電磁波の心配があるような駅前には私は避けた方がいいと思っています。

それと、駐車場の件なんですけれども、有料と無料の無料券を出してゲートにするというんですけれども、なはんプラザの行事があるときは、今でもなはんプラザの前の駅前駐車場が満車になるっていうことが聞いてますので、それが、図書館ができた場合、図書館に行く人がそういうなはんプラザの行事の時に使えないっていう風なやはり問題も発生すると思います。で、今まで、それと別に、花巻の市の行事で、花巻祭

り、市の花火大会、その時にイトヨーカドーさんの駐車場がほぼ満車状態で市民に使われていたんですけども、買い物に行きたくても、結局そういう、こう祭りとか花火大会の参加者の人たちでなかなか止めるのが困難だったりするんですね。で、じゃあヨーカドーさんが非常に鷹揚だったわけで、もうそういうのも全部止めさせていただいたりとかしてたわけなんですけど、実際にそれは営業妨害にならないのか。中に入って、例えばお寿司とか惣菜のコーナー、お弁当のコーナーを見ると、ものすごい山のように残っていて、実際駐車場をそういう行事の時に使った人が、じゃあヨーカドーで買い物してきたかっていうと、なんかちょっとかわいそうなくらいだったんですけども、今度入るスーパーのそういうところとも一応協議はしているのか。そういう面からしても、病院跡地の方がずっとその上町とか近いわけで、高台なので、駐車場の件は非常にメリットがあると思います。市民が使いやすいと思います。

それと、先ほどの方もおっしゃったんですが、市民会議の10項目のうちのやはり半分が病院跡地の方で、優先順位に漏れた方が多いんですけども、その中でやはり活性化っていうのが、ちょっと、これも何を活性化するのかなんですけど、UR都市機構ですか、プロフェッショナルの駅前開発とかの、そういうところに、市の方が花巻駅前の調査をしてもらった時に、商業的な発展可能性はないっていうことの実際に資料、データが出ていて、それはあまり公表してないんですね。で、そういうことも市民会議のメンバーには何も言わないで、あまりそれは公に出さないで、商業的発展の可能性はないところに何の活性化を期待しているのかっていうことなんです。

そして、安全性でも重要項目高かったんですけども、いわゆる土砂崩れとか、なんかそういう土留めをするので、絶対、もしは跡地の方に図書館を建てる場所はしっかり土砂崩れしないように土留めをするっていう風に市の方で言っているけど、おそろく真っ赤に塗りつぶした地図を市民会議の方で見せられれば、これはやっぱり怖い、やっぱり不安が残るっていうことで、それはちょっとイメージ操作ではなかったのかなっていうような疑問も残ります。それと、先ほどの、

高橋次長

すみません、ご意見としては賜れますが、ご質問の方はよろしいですか。

質問者 13

植物のこと、電磁波の問題、それと駐車場の駅前の問題ですね。それから、市民会議も、ちょっと市民が納得してないというか、それなんですけども、議会の特別委員会で市民の理解と十分に納得した上での一応決定とあるんですが、これだけやはり市民が民意としてですね、署名とか、それと反対意見があったりする中で、一体、駅前に一応決めて、で、先ほどの市と教育委員会の方が決める、決めて行きますっていうことなんですけど、本当にそのパブリックコメントや市民説明会で市民の意見を聞きます、参考にします。で、市民参画しました。はい、一応聞きました。で、今まではいつもそれで終わりだったんですね。市民の声をどこまで真剣に聞いているのか。で、もしその市民の声を真剣に聞いてくれるのであれば、どうしたら私たちが望む病院跡地の方に今の駅前の市の決定を覆せれるのか、そこをアドバイしていただきたいと思います。

高橋次長

質問としては確認なんですけども、どうやったら覆せるかということでよろしいですか。色々ありましたけども、まずは順番に回答する形でよろしいでしょうか。

市川主任専門員

では、まずですね、ちょっと誤解があるとあれですけど、電磁波についてはですね、これは議会でも答弁してるのがございまして、WHO っていうのは世界保健機関っていうしっかりしたところですよ。で、平成 17 年に電磁波の健康リスクを評価するために専門家による検証を行って、電磁界の健康リスクの評価っていうのをしてるんですね。その中で、人体に関する影響のガイドラインを勧告することを目的として設立された中立的な国際的組織というところで平成 22 年に策定した電磁波から人体防護に関するガイドラインっていうのがあります。で、簡単に言えば、一般の人、人への電磁波の影響の制限値は 200 マイクロテスラという数字です。花巻駅の西口にある変電所ございまして、その変電所は 1 番強い箇所です。9 マイクロテスラだそうです。それで 200 マイクロテスラと比較してかなり低いということはわかっていただけるとは思いますけども、人の健康を心配するようなレベルではないということですし、なおかつ、これは距離の 2 乗から 3 乗に反比例をするんだそうです。つまり、距離が離れると一気に小さくなるそうです。ということも言われております。これは議会で質問があった際に答弁したものでありますので、ほとんど影響がないというふうに考えております。

あとは、植物、自然がやっぱり駅前では少ないんじゃないかっていうことですね。市民会議の皆さんにちゃんと情報は出してますし、希望者ですけども、現地を歩きます。やっぱり緑があった方がいいんじゃないのっていう意見はあって、見ていただいたと思います。実際緑があるかっていうと、草はありますが、緑というのは、例えば花巻小学校の緑、林とかですよ。あと、まなび学園の北側にある林とかっていうのが、緑の木があるということかなっていう風には思っておりますが、この辺にも木がありますよね、桜とかもあるというのは参加者の方々見ていただいておりますので、そこはご理解いただきたいと思います。

質問者 13

北上図書館とか奥州市の図書館は、本当にすぐ隣に公園とか緑や川があったりとかして、窓から見えるんです。

高橋次長

私ちょっと忘れてしまったんですけども、あと質問 2 つあったかと思うんですけども、駐車場と、

質問者 13

駐車場と、覆すにはということ。

市川主任専門員

市内の駐車場っていうのは、やっぱり少ないんじゃないかなっていう風に評価されてます。で、ヨーカドーが例えば祭日の時に使えるかどうかっていうのは、我々はわからないです。で、特に話をしているわけではないですし、例えば、この学園の駐車場も花巻まつりの時には使えないんですよ。実行委員会とかですね、出演者とかのための駐車場になって使えないっていう状況になっています。ですのでそこは、この病院跡地が仮に図書館になったとしても、祭りに使えるようにするべきかどうかっていうのはわからないですね。そこはね、その辺りの、なんて言うんですかね、市民会議の皆さん、いろんな情報、商店がどこにあるとかですね、いっぱいあったんです。こっちにはお店がないんじゃないか、逆にあった方がいいんじゃないかとかですね。駅

の方にはその商店があるけども、商業的にどうなったって先ほどおっしゃったのもありますけども、UR の調査というのは、先ほどおっしゃいましたよね、商業的な魅力とか、花巻駅前無理なんじゃないかっていうのは、UR の調査は、図書館複合施設を建設する場合にどのような商業施設が入ることが可能かっていう調査です。つまり、駅前の調査じゃないんです。ここにできた場合も含めて調査してるんです。ここにつくった時、まなび学園周辺あるいは駅前に作った時に、当時は複合施設を作るっていう考え方ありました。それで、図書館と一緒に商業施設とか入れたらどうなんだっていうことを調査したわけですね。それで、どっちの場所も花巻ではちょっと商業施設は難しいと出たんです。例えば、映画館とかですね、シネマコンプレックス、中央のチェーン店とか、そういうところも、その UR 都市機構っていう東京のコンサルタントが調べてくれたものってことです。それは駅がどうだっていうのではなくて、花巻全体、どっちの場所に複合施設を作っても、商業施設が入るのは難しいという見解だったということ。

あと、覆すにはどうしたらいいか。覆すのは難しいと思います。これまで、先ほど来申してますけども、市民会議の考え方を重視してやっていく、署名の方々のご意見、署名も 7,000、全国的にも 1 万いただいてるわけですから、これは貴重だと思いますし、当然市民の中でも署名してる方もそんなにいらっしゃるわけですから、市民会議の中にも先ほど申したとおり入ってきてるわけですね。その皆さんも含めて、どっちがいいかっていうのを話しながら出てきた結果を私たちは真摯に受け止めて、病院跡地の意見の方もあったと思いますよ。いろいろ意見はあります。様々です。皆さん、そういうのを話し合いをして、個人的に最後に書いてきてもらったのを踏まえて、それを考慮してこのように駅に建設候補地をしたというようなことですので、ご理解をいただきたいと思います。

質問者 13

理解できません。理解できませんし、市民会議たった 65 名と、それと私たち、本当に 50 年先を見た時にここがいいんじゃないかって、もうちっちゃい子どもからお年寄りまでそう思って、ほんと必死になってやってきたので、市がどこまで私たちの税金を使って市民が楽しく暮らせるためのそういう公共施設を作るのに、市民会議の 60、それもその 10 項目を優先順位でというのがやっぱり納得できないと思います。どうしたらいいですか。

市川主任専門員

わかります。いろんな意見あるのはわかりますよ。先ほど、駅がいいっておっしゃってる意見もあるじゃないですか。子どもたちのためにもと。将来、50 年、100 年先も考えても駅の方がいいんじゃないかっておっしゃる方もありますよね。そこはご理解いただきたいと思いますよ。そういう皆さん全体を踏まえて、私たちはこうだっていう風に判断したということなので、ご理解をいただきたいというふうに思います。

質問者 14

ご説明いただきましてありがとうございました。まず、広報はなまきで、こうやって載ってることは民意なんだろうなっていう風に私の方は捉えております。確かに署名があって、それを無視することはできないと思いますし、この旧花巻病院跡地のところはちょっと、民意としてはちょっとそういう意見にはならなかったのかもしれないけれども、2 番とか 3 番とか、そういった項目についてはなんか検討していただ

いて、十分盛り込もうと努力されてるところはそこに見て取れるかなっていうところでありまして、こちらのところに関してはぜひお願いしたいなというふうに思います。やっぱり宮沢賢治とかそういう買い物、土地というところもありますし、そこはぜひとも入れていただければなというふうに考えております。

それで、ちょっとこの芝生広場とかってありましたけれども、今なはんプラザの前では、結構音楽イベントとか、ビール祭りじゃないですけど、ベレアレンさんとなんかやって、祭りしてるんですけれども、そういったのはさすがにちょっとうるさいのじゃないかなっていうところは思ってます。そういったイベントの制限とかって、この図書館ができることによって何か生じるのかなっていうところ、ちょっと考えがあるのかなっていうところで、ちょっと確認させていただければというふうに思います。

市川主任専門員

現段階ではイベントの制限とかは考えておりません。この基本計画案の中では、なんて言うんですかね、今建設されてる図書館ってかなりそういう風になってますが、しっかりと防音した部屋が、つまり静かに本を読みたいっていう方があります。当然、駅だとうるさいんじゃないかっていう方はありますけども、駅じゃなくてもやっぱりうるさいところに建ってる図書館はいっぱいあるわけですよ。そして、しっかり防音した部屋を設けて、本当に静かに読書がしたい人のための部屋っていうのを作ります。そういうような部屋も設けたいですし、一方で、少しおしゃべりをしたいっていう方々もいるわけで、今は音楽を流したりしているようなところもあります。それはまだ決めているわけじゃないですが、そういうようなところや、子ども連れが来やすいようにするには、小さい子どもがいると騒いじゃだめかなというのが図書館の感覚だと思いますが、そうじゃなくて、もう子どもさんたち遊んだりはねたりできるコーナーがある図書館が今普通なんです。そういうものを作りたいっていうのは計画で書いています。つまり、色々静かな部屋、少し騒いでもいいような部屋、グループで等の話し合いなんかもしながら研究もできるような部屋、そういうような多様な部屋をつくりたいと考えていますので、今も音楽フェスなんかやっていますが、グランシェールの中にも、あまり気にならないっていうと変ですけど、ちょっとベースとかは聞こえるかなという感じだと思いますので、その辺りは制限する必要はないんじゃないかと今現段階では考えています。

質問者 14

はい、わかりました。色々検討いただいたようで、ありがとうございます。もう1点だけいいですか。合併特例債が令和12年のリミットっていうお話だったんですけども、もうこれからこう設計入っていったところ、間に合いそうなんですかっていうところがちょっと確認だったんですけど。

市川主任専門員

現段階では間に合うと考えております。

質問者 14

今こういった意見が出ていますけども、これで、いややっぱり病院にしてほしいよっていう議論がまた起きると、これは無理だって話ですよ。

市川主任専門員

無理と言えるかどうかっていうのはまだわかりません。今、我々がざっくりとしたスケジュール、補助金をもらったりしながら進めるスケジュールでは、合併特例

債、令和 12 年度の中ではできると考えております。

質問者 14

はい、承知しましたが、検討を進めるというか、なんとか令和 12 年までに完成していただいて、その合併特例が使えないと、市税としての負担がより多分増えることになると思うので、なんとかその市民としての税金を抑えた形で、この図書館の方を、建設を目指していただければなというふうに思います。以上です。ありがとうございました。

質問者 15

全部で 4 点質問があります。1 点目が基本計画案の資料編。この 48 ページに、令和 3 年から令和 6 年にかけて、あの図書館に関しての結果が載っています。資料編の 48 ページです。48 ページの 1 番上に、コスト財政負担についてということで、3 項目があり、「シンプルでコストをおさえる建造を望む」「市有地を活用し、賃貸料や買い上げを避ける」「大規模施設よりも効率的で持続可能な構造」、これアンケートの中の一部だって言われればそういうことだと思えるんですけども、資料編の中にそういう部門があったものですから、うん、ここの部分をどういう風に解釈すればいいのかなというのが、自分の中でちょっと整理がついてないところですね。それが 1 点目。

2 点目が、今日配布された資料の中の、7 ページ目から 8 ページ目にかけてなんですけれども、市民会議のメンバーについて、基本的に見て自分は少ないのではないのかなというふうに感じています。署名の人数がうんぬんという議論もあるんですけども、署名活動っていうのは当然どこからともなく出てきていろんな団体が提出されるのは、それはそれで理解できるんですけども、元々この 3,500 名っていう、なんだろう、市の方からこの判断を郵送してですね、で、それに対して 75 名の方が手を挙げて、そのうちの 65 名の方が実際に出席された形になるようなんですけれども、単純、先ほど 15 際以上の方って言ってましたけども、人口比でいくと 3,500 人っていうのが当市の 3.9 パーセントにはなります。実際に 75 名の方っていうのは 0.08 パーセントになってしまうんですね。で、ここの比率っていうのはなんか少ないなって自分自身思って、市政への市民参画ガイドライン運用マニュアルっていうものをホームページの方から確認いたしました。人数についても記載はありませんでした。なので 3,500 人から 75 人でもいいのかなというふうに思いますけれども、その部分については、計画室として 3,500 名にお願いをして何名を想定していたのかっていう、当初のその目論見というところとちょっと言葉が悪いかもしれないですけども、予定する出席者の人数があれば、その部分を教えていただきたいと思います。あとは、その市民参画ガイドラインについて。ガイドライン運用は、マニュアルの中に、そういう人数、人口比率でどれぐらいの募集をして、それに対して数が少ないのであれば最低限ここまでは再募集をするとか、そういう運用ができないものなのかなっていうことを明記すべきではないかと思います。ちょっとここは逸脱しています。

3 点目、基本計画は、現在若葉町から単純に駅前に移動するっていうような感じになると思うんですけども、実際に若葉町で、朝早くからね、新聞を見られる方とか、駅前に来ればそういう方はあんまり少なくなつて、若い方が来るのか、若い方は学校だから日中には比較的ガランとするんじゃないかなとかって思うんですけども、近隣の方々はどのような意見を持ってるのかとかということを、計画室として把

握してるのであれば、その部分を知りたいなと思います。

4 点目、8 ページ目です。8 ページ目の中段にある重要視された分類の上位 5 つは、というところから、(3) の建設予定地までの文言の中に、駐車場のみが病院跡地で評価されていることがわかりました。というふうに記載がされています。「のみ」という言葉は、これ使わない方がいいと思います。(3) の選定の段階で、市としては、市としてと言っても、市長なんでしょうけれども、花巻駅前を建設候補地としたっていうところで判断をしたというのであればわかるんですけども、この前段にこの「のみ」っていう言葉があるっていうのは、非常に、なんだろうな、この文章を作った方が駅を推しているのかなと単純に思いました。抜粋版ですから、この抜粋版が作られる前はどうかんどうだろうと思って、実際に抜粋じゃない基本計画案を確認しましたけれども、そこにも「のみ」と書いてあるんですね。これ、書かないでください。はい。あまり記憶に残る、現時点でもうすでに記録に残るような形だとは思いますが、ちょっと思いの部分が入ってしまってるんじゃないかなというふうに感じましたので、質問というよりは 4 番目の意見になりますが、以上です。よろしくお願いします。

市川主任専門員

1 点目のですね、私有地を活用して賃貸借や買い上げを避けると書いているのは、これはアンケートで書いた人がいるという項目ですので、それをそのとおり書いているものであります。

次、2 番目の市民会議のメンバー少ないのではないかということと、その当初の目論見みたいなことですが、この市民会議については、慶応義塾大学と花巻市、提携してるんですが、その慶応義塾大学にこういう市民の意見集約等について指導を得ました。ご指導を得て、大学院の特任教授、山口先生という方を紹介されて、その先生が市議会議員の司会ファシリテーターをしたということになりますが、その先生のアドバイスをしています。その中で市民会議の先進地を紹介されました。東京都の三鷹市です。三鷹市の事例を見ますと、対象者の人口が 15 万 8,900 人で、無作為抽出は 1,800 人で、114 名の申し込みがあったと。ただ、三鷹市は抽選でそこから 100 名に絞るんですね。なおかつ実際の参加者は 82 名です。これは、100 名っていうのは、対象者の 15 万 8,900 人に対する数値は 0.06 パーセントです。出席者は 82 人ってことは 0.05 パーセントです。また、同じ三鷹市ですが、同じく 1,800 人に送付して、142 名が参加を申し込み、抽選で 80 名選出され、実際の参加者は 62 名という例があります。これは、80 人だと 0.05 パーセント、出席者 62 人は 0.04 パーセントという方々で市民会議をやっているという例がありました。で、三鷹市の例を参考に、我々、0.06 パーセントの参加者をまず算出したんですが、花巻市の 15 歳以上が 5 万 7912 人、の 0.06 パーセントは 34.7 人というふうになります。図書館については市民の関心も高いと我々判断しておりますので、市民の関心が高く重要ですので、50 名程度の参加者は必要と考え 50 名を目指したものです。結果的に 75 名の参加者、希望者があって、これは先ほどの比率でいきますと 0.13 パーセントですね、という状況ですし、ただ、都合により出席できない方もあったわけです。先ほどありましたね、1 回目、2 回目、3 回目、4 回目で人数減った。当初は 3 回でやります。4 回目の予備日という形でした。ただ、やはり皆さんの意見交換が進んで、本当に図書館の建設場所っていうのは重要だということから、4 回目まで伸ばして対話したという形になってい

ます。そういうことで、ヒアリングシートというのを書いて、いただいた人数は 65 名になりますが、これは対象者の 0.11 パーセントですので、目指した 0.05 とか 0.04 の三鷹市と比較しても、約 2 倍の参加者から意見を聞くことができたと考えてるものであります。

日中ガランとするんじゃないかっていうこと、近隣の皆さんというのは、大通りとか駅前とかですか。

質問者 15 両方です。

市川主任専門員 我々市政懇談会というのをやってるのはご存知だと思いますけども、駅前は中央地区にあります、これまで中央地区で市政懇談会をやった際には、皆さんから新花巻図書館の状況はどうなってるんだというような議題を出していただいて、説明してきたことはございます。それは花巻中央地区もそうですし、西地区、今の図書館ある場所でもやってます。花北地区でもやってます。先日、駅前の商店街の親交組合の総会がありまして、その際、ちょっと時間いただいて駅前の方々の意見などは聞いたという経緯はございます。色々ご意見はいただいております。若葉町の方で、多分、近くにあったのに遠くに行くのが嫌だというのは、もちろんそういうような意見の方もありますが、やっぱり今の図書館は、閲覧室が 2 階になってるとかですね、使いづらい面もあるし、大きな図書館でしっかりした蔵書も増えますし、新聞も今よりも充実した数、雑誌も数を増やす計画で今組んでますので、一定のご理解をいただいているものと考えております。

菅野部長 花西地区の市政懇談会等では、図書館が移動するということで、残った建物について、地域で活用するということで話をさせていただいてるところです。直接そういう中で図書館を動かさないでほしいという意見は聞いていません。ただ、駅前地域の方からは、先ほど出たように、イベントとかの時には駅前の広場活用してますので、そこに影響はないようにしてほしいというご意見をいただいているところではあります。

「のみ」という言葉に特別意図があってつけたとか、思いを込めてということではなくて、4 分類に対しての 1 分類ということで「のみ」という言葉を使っただけですので、ちょっと私たちもう 1 回検討して、必要であればちょっと言葉変えたいということは検討したいと思います。

質問者 16 以前、試案検討会議の委員をやってまして、今、図書館の協議会委員をやってます。ずっと 4 年ぐらい 4、5 年ぐらい経過見てきたんですが、市の市議会定例会とかの答弁でずっと、市民の意見を集約するとか、多数決で決めないとか、かなり言ってきましたが、今回、市民会議の結果を受けて、市民会議の上位 5 項目の数で決めるとか、あと、病院跡地派の方々が納得する説明もないままに進めていること、ちょっとがっかりしてます。あの、病院跡地派の方々にもちゃんと説明して、合意形成がなければ、市民の意思は成立しないと私は考えています。

あと、例えば市民会議の数が少なかったのではないかという話もあるんですが、私も 4 回全部傍聴しました。残念ながら傍聴席から出ちゃいけないって言われたんで、細かいグループの話し合いは聞けなかったんですが、有意義な話はしたと思います。

で、その結果ですね AI によって 10 個の視点、項目に分けて、10 個の視点は分けて整理したと思うんですが、そのうちに、上位 5 項目だけを取り上げて、下の 5 項目を切り取った形で数で集計した。集計したそのままの結果で結果を出したのもちょっと乱暴、乱暴というか、じゃないかなと思います。

例えば活性化とかアクセスに関しては、別に図書館じゃなくても、商業施設でも他の施設に当てはまる話であって、例えば第 9 番目の歴史文化に関してはきちんと基本方針に書いてあるのに、それを切り離すというのもおかしい。基本方針とすり合わせて整合性を持った吟味をきちんと、この市民会議の結果を受けて、受けた上でのそのデータなり意見をちゃんと吟味して、吟味検証した上で、計画室の方で吟味して出せばいいと思うんですけど、数字だけで出しているのはおかしい、数字だけ出しているようにしか見えないんですよ。だから、ちゃんときちんと、例えば活性化に関しては、じゃあ、上町、いわゆる跡地のそばの上町とかか、上町の活性化、上町商店活性化とか、あと、うんと生涯学習、まなび学園との連携とかと、あと市役所とか、市役所の、市役所とか情報交換とかの活性化はあると思うんですよ。そっちの方は全然考えなくて、ただ駅前だけ活性化ってすごく手落ちだと思う、吟味の仕方、その辺きちゃんと吟味し直してから反対派の方も納得できる説明をしてほしい。今のままだと中途半端でパブリックコメントして進めようというのはちょっと拙速すぎじゃないかと思うんです。だから、もう一度きちんと、急いで結果出さないで、きちんと市の方で包括、こういう方針だということをきちんと吟味して、そういう話し合いというか検証なり、そういうのをしてほしいなと。今、ただね、5 項目だけは取り上げて、それで数字でやってるんで、これちょっと納得、私は駅前でもいいと思うんですが、納得できないんで、それをきちんとやってほしいな。それちゃんと説明して、どうしてかって、こう説明するべきだと思うんですが、どうでしょうか。

市川主任専門員

5 項目だけ抽出したとかそういうわけではないですし、今回きちんと説明しているつもりです。もちろんですね、これまでも話してますが、いろんな意見あるのは皆さんもご理解いただけますよね。こういう意見もあるし、ああいう意見もあるだろうっていうのは今の会議でも発言された方色々あったと思います。そういうのも我々は踏まえて、今までその署名でいただいたの、その前にいただいたもの、若い人たちからいただいたのも、署名も含めて色々考えた上でこの基本計画案を出してきているというものです。

今、大きく見ますと、場所についてだけが大きく、こっちがいいんじゃないかあっちがいいんじゃないかと議題になってしまうわけですが、それについてやはりどちらもあるしどちらもいい点もある、悪い点もあるとおっしゃる方々がたくさんだったわけですよ。そういうのを無作為で抽出した市民の方々に検討していただいて、ちゃんと情報を出して、その上で皆さんが 1 つにまとまるっていうことは難しいというのはわかってますよね。市民会議だってそうなんですから。結局、皆さんのご意見を踏まえて、市が駅の方がいいんじゃないかとしたものです。文化とか歴史は重視してないとかっていうわけではないですよ。市民会議の参加者も重視するべきだということで、候補地考える上で重視すべきだとして出てくる分類項目なわけですよ。活性化は、上町とかっていうのではないんです。市の活性化、全体の活性化を考える上で、駅前の方がいいんじゃないかって考えていただいたと捉えています。

質問者 16

その辺をきちんと、基本計画案にきちんと書いて説明して、僕でもわかんないんですよ、僕みたいな協議会委員でもまだよくわかんないんで、市民の方々がわかるようにきちんと書いたやつをちゃんと提示して、それで、それからパブリックコメント出すとか、今ちょっと中途半端、パブリックコメントに出してるの。そういう計画はないんですか。

市川主任専門員

パブリックコメントや市民参画をするっていうのは決まってるんです。こういう風にやりなさいっていうのは決まっています。それで、私たちは市民説明会をやっています。ということです。あと、パブリックコメントを1か月間、皆さんからご意見を聞くのをやっています。委員ですけども、図書館協議会からも意見を聞くというふうに決めたんです。それでちゃんと決まったことをやってることなので、それ以外のことをやるっていうことはない予定です。

質問者 16

市民の意見の集約を図るってずっと前から言ってますが、そういうだから、合意形成もないまま進めてるのは、ちょっと病院跡地推進派の方にも失礼だし、だから、ちょっとちゃんと説明をして納得してもらう手順をキープしてほしいということ、よろしくお願いします。

質問者 17

長い間本当にご苦勞様です。私もこの市民会議の参加された方たちのご意見をですね、ヒアリングシート、すごくよくまとめられたこのシートを見ながらですね、読んでみました。本当に、数字についてはお話になったように、色々あるんですけども、その数字の中で、どちらでも良いと答えた方たちの答えはすごく重要だなと思いました。すごく細かく書いてあるんですよ。こういう風に思っているけども、どちらにしたらいいかわからないけど、悩みながらどちらでも良いと答えてる方たちもだいたいいるなと思ってます。だから先ほどからね、市川さんがですね、市民会議で決めたんですよ、市民会議の意見なんですって、何回もお話になるんですよ。市民会議で決めないと言いながら、話すたびに、先ほどの活性化、これは市民会議の意見なんです、これも市民会議、なんでも市民会議で持っていくっていう、市民会議に参加された方が本当に気の毒だなと思います。後にいろんなことが出てきた時に、市民会議の人たちの意見で決まったんだって何十年も言われるかもしれません。よく行けばいいんですけど、うまくいかなかった時がもっと悲惨だと思います。市民会議の意見はあくまでも参考意見としましたということであって、踏まえて市の考えとなりますので、この人たちの考えを基に決めましたというふうになってしまうので、ちょっとすごく問題だなっていう風に思います。

それとですね、若い人たちが本当に駅に希望する気持ち、私もわかります。自分も駅を利用して見て、すごくあそこのところ交通便がもっとあればよかったなと思ったりもすることもありますけども、若い人たちは今活動的だから、なんでもできるんですよ。車もあるし、歩くことも早いですし。私たちみたいに年寄りになると、静かなところでちょっと休みたいとか、心が寂しくなった時に、図書館に行って、ちょっともう少し心癒したいなと思う。図書館はそういう命の泉でもあるんですよ。地の泉でもあるし、命の泉でもあるんです。それに、思うんですけども、その地

の利っていうのがあると思うんです。土地の利っていうんですかね、あの花巻病院跡地にはどこにもない良さがあるんですよ。賢治の里であるし、よくこの広々としたこの、ここに立つてみると、桜と花が咲いて、いいな、ほっとするなって心が現れるような、そういう場でもあるし、若い人たちにすれば、活性化があって駅前が賑やかであればいいと思うんですけども、子どもが生まれて何十年間、何年か後にですね、子どもを連れて自分もある程度年を取ってみたりすると、本当にそこでよかったのかになって振り返る時があると思うんです。だから、図書館ってというのは、こう、10年、何十年先のことも考えて、市民の人たちが使いやすいようにしてほしいというのが基本構想に入ってるんですよ。だから、さっきから若い人たちが望んでます、若い人たちが望んでますって、市長さんも再三議会でもお話になるんですけども、高齢者の人たちの心を考えた言葉っていうの、全く出てこないんですよ。子どもたちを連れて、若い、本当に赤ちゃん生まれたばかりな障がいを持つお母さんたちの心を考えてないって思うんですけども、それをどういう風に具現化するのかっていうのはわからないです。私が言いたいのは、ここには市民会議の人たち意見載ってますけども、市長さん自身の、市自身の考えが、図書館をどんなふうにやりたいか、どんな図書館にしたいと市長さんは考えてるのか、そこが見えないんですね。だから、やっぱり私は振り出しに戻って、市長さんもみんな含めて、本当にこの土地でよかったのかどうか考えてほしいなって思うんですね。疑問なところがたくさんあるんですよ。なぜ病院跡地がだめなのか、その理由は全然今のお話でも聞かえてきません。最初はですね、歩道がないから子どもたちに危ないと学童の子があそこ通るんですよ。危ないから歩道がなく狭いんですよってお話でした。でも、ほとんどできてきて、道路も整理されてきてます。そしたらその言葉はなくなりましたね。今は若い人たちだけの意見です。そういうの誰かも言っていましたけども、場所とかなんとか、色々考えれば変えられるんですよ。よくやっついこう、こうすれば良くなるかもしれないからこうやっついこうというふうに考えれば。みんなね、知恵を出し合ったりすれば良くなっていくわけなんです。本当に図書館が駅でいいかどうか、本真に考えてほしいなっていう風に思います。私の意見です。ありがとうございます。

高橋次長

まず、ご意見として承る部分と、1点だけ、私、事務的な部分で説明させていただきたいと思います。私たちがまとめた取りまとめ、皆さんのシートを読んでいただいて、大変ありがたいと思います。私たちも時間をかけて丁寧にまとめたつもりですので、まずはそのまとめたものを見ていただいたことに感謝申し上げたいと思います。その中で、先ほどおっしゃられたどちらでも良いっていう発言だったんですけども、参加者の方もいらっしゃるの、参加者の方、皆さん本当に迷われたと思います。迷われた中で、このどちらでも良いという意図については、何名かに私もお伺いしましたが、どちらに立っても、この計画であればいい建物が立つだろうという意図を持った方が多かったです。という部分で私たちは理解させていただいて、それを踏まえてと、踏まえてっていうことは、先ほどあったんですけども、やっぱり貴重なご意見だと思いましたので、私たちでも検討をさせていただいたのは事実でございます。市長がどう考えるかという部分について、私たちはどんな図書館が欲しいかっていうのを真摯に聞かせていただいておりますので、その部分はまずご理解いただきたいのと、いただいたご意見につきましては、ご意見として私たちの方で検討させていた

だきたいと思います。ありがとうございます

質問者 17

その市民会議の時にね、参加者から質問しちゃだめ、議論してはだめ、あれしてはだめっていう風に色々制約があって、まとめて話すことはなかなか難しかった。2分間で話さないって言われて、いろんな制約があって話しづらかった。疑問に思うこともたくさんあったんだけど、質問ができなくて言葉を飲んでしまったっていう人もありました。

高橋次長

そこについて1点ずつ確認させていただいてよろしいですか。その部分、ファシリテーターを担当した山口先生は対話の心得ということでお話しさせていただきます。その中で2分間っていうのは1回2分間という意図でございます。1人4時間の中で2分間だけという意図ではなかったのは、ご参加された方もご理解いただいていると思いますので、その部分はまずご理解いただければと思いますし、話慣れてない方は確かにいらっしゃったかもしれませんが、そういう風な雰囲気にならないように私たちも準備を進めましたし、意見が言いやすいように傍聴者と境をつけさせたことはご理解をいただければと思います。

市川主任専門員

この2分っていうのはですね、つまり、1人で10分も話しちゃダメだよっていう意味です。2分ずつ公平に話しましょうねっていう意図でやったと思いますし、質問してはダメっていうことはなかったと思います。色々聞かれることがあり、手を挙げてもらって、わからないことは事務局が説明したりしたっていうのはありました。それから、市民会議が決めたということではないですよ。市民会議の意見を参考に市が決めたことです。私は市民会議で決めたとは言っていないので、そこはご理解いただきたいと思います。

質問者 17

話の中で市民会議というふうに何度もお話しされればね、聞いている人たちは、やっぱり市民会議を重視して、市民会議の声が主だったんだなっていう風に解釈するわけじゃないですか。

市川主任専門員

はい。市議会を重視するっていうのは、市議会においても市長は話しています。我々、答弁の時もそう言っています。市民会議の意見を重視してきますよ。それを真摯に受け止めたいと思ってるっていうことも言ってますから、それをやっぱり我々は重視したということです。

質問者 18

今までの意見を聞いて、当初、図書館の政策を出す時、市の方たちが政策を練ると思うんですが、その時に賃貸マンション付きの図書館っていうことの政策に疑問を1つも持たなかったのかなっていうことを、もうとても不思議に思います。私は、市民はやっぱり市を信じて政策を進めてくれるってことに信頼を置いてるわけですけど、置いてるか無関心か、どっちもあると思うんですけど、今回の問題で、私は非常にやっぱり市民1人1人がね、きちんと気を付けて、今後いろんな政策があると思うんですが、そういうのをちゃんと見極めるような資質、それから知力、それから目を持って市政をちゃんと見ていかなきゃなんないと思うんですね。で、1つ疑問に思わな

かったのかな、反対の声が上がらないのかなって思わなかったんでしょうか。この図書館について。

市川主任専門員

はい当初、先ほど申したとおり、6つの案がありました。で、病院跡地、まなび学園と、あと、駅に近い方がいいんじゃないかっていうことを意見あって、それも考えた上で、駐車場、先ほど話しましたね、駐車場と、スポーツ用品店のところというふうに考えたわけです。で、スポーツ用品店の場所っていうのはJRの土地ですので、JR東日本に、ここに図書館を建てる可能性を検討いただけないかっていうことを協議したわけですが、JRでは土地は売りたいではないってということなんですね。わかりますよね。JRで土地は売らないってことだったんです。そうすると、ただ貸すのはいいですよということで、賃貸で土地を貸しますから、そこに図書館を作るっていうのはできないわけではないわけですよ。それを我々は、考えた結果、ああいうことになったわけですが、あのマンションじゃないですよ、考えてるのは賃貸住宅ですよ。構想として出した、賃貸住宅ですね。なぜああいう方法を考えたかっていうと、紫波町にオガールがあるのご存知ですか。オガールって、複合施設で、ホテルあったりとか色々して、商店入ってたりして、その中に図書館ありますよね。そのオガール、共産党の議員さんからもオガールすごくいいっていう風に言われました。私たちはオガールに行ってやり方を教わりました。そうした中で、複合施設でやるんだったら、花巻市でやるのであれば、賃貸住宅を上につけたら、その賃貸料を持ってJRから土地を借りる、賃貸料を払う方法。ただ、借りますから、固定資産税は、JRから入るという方法を考えたのはオガールです。で、それを参考にやろうと思ったんです。疑問に思ったかっていうと、特に疑問には思いません。なぜなら、東京の方には、図書館の上に30階のマンションがついてるようなところもございます。先ほど言いましたが、もう最近では東北でもできてきています。山形の酒田は、図書館の上にホテルがついてます。隣にはマンションがあります。立体駐車場があります。バスターミナルもあります。駅前にあります。そういう施設をどんどん作っています。我々も当時考えたのは2年です。令和2年に考えた。結構先進的だったと思いますよ。それは先進的だと思いましたし、疑問には思いませんでした。

高橋次長

追加で説明させてください。やっぱり私たち、あの施設の運営ということ考えた時に、多分皆さん図書館をすごく利用される皆さんだと思いますけども、図書館、無料の施設です。一方で、本を買うという行為に関しては税金も投入しないといけないと個人的には思ってます。で、運営方法を考えた時にどうするかっていう手段として、当時はさっき市川が話したとおり、先進的な方法だったかもしれません。ただ一方で、そういう自治体があり始めたのも事実だったので、そういう形で進めたいというふうにご理解をいただければと思います。

質問者 19

つまり、やっぱりどういう図書館を作りたいのかっていう哲学がないとダメだと思うんですよ。箱物だけ作ればいい。わざわざ駅、駅に作るんだとしたら、そのJRから土地を借りなきゃいけない。そのためには、じゃあ賃貸住宅を持ってくる。そういう、

- 高橋次長 1点だけ。すみません、話の腰を折って申し訳ありません。今の話というのは、こういう図書館かっていうビジョンという理解だと思うんですが、
- 質問者 19 賃貸住宅が上についている図書館を作ろうと思った、その発想に何も疑問を持たなかったのかというのの答えが、こういう事情があって、そういう先進的なもうホテルが上にあったりあったりなんだから、そういう事例もあるから、そういうものには一切疑問を持たなかったっていうことなんだけれども、最初のこの基本方針の中にある郷土の歴史、すべての市民が親しみやすく使いやすい、子ども高齢者も障がい者も。これからの図書館は市民の、諸々書いてますよね。この基本方針を形にするために、花巻市の図書館がどういう図書館なのか、どういう図書館を作りたいのかっていうやっぱり哲学を持たないと、そういう発想になっちゃうんですよ。
- 高橋次長 その哲学という部分は皆さんご覧になっていると思います、基本構想で私たちは整理させていただいて、それは私たちがいま目指すべき図書館として計画しています。
- 質問者 19 目指してほしいです。本当に理念が大事。
- 市川主任専門員 この基本構想に書いているのが、駅前で、仮に上に住宅がついていけば、それはそぐわないということはないと思います。それは基本構想は別です。我々、
- 質問者 19 図書館の知の泉。お年寄りも子どもも学生も若者も、みんなで行って集う。ここに行きたい、あそこの図書館に行きたいよね、全国から、世界中から宮沢賢治の里の図書館に行きたいよねっていう図書館を目指すとしたら、その賃貸住宅の駐車場はどうするんですか。賃貸住宅の上にかく、洗濯物や布団が干し、人間の生活が、
- 高橋次長 すみません、1点だけよろしいですか。今はもう市としては賃貸住宅については撤回してますので、考えてないです。よろしいですか。言い争いになってしまうとあれなので、考え方の整理をさせていただければいいんですけども、現時点で皆様にご説明させていただいてるのは、あくまで基本構想を踏まえて、今までいろんな検討させていただいた上で、今、基本計画案を策定させていただきました。ですので、そこはありませんということですので、そこはご理解いただければと思います。
- 質問者 12 今に関連してなんですが、さっき、そのどうであれ、その駅前における木造建築っていうものは果たして、推進できるものかというのがあるし、それとですね、ちょっと1点だけ確認したかったほどちょっと気が付いたので、今日いただいた資料の9ページ、これ建設用地について、②ですね、これ、建設用地は市有地とすることとあるんですが、この建設場所についてで、その下の方では、JR東日本から土地を譲り受け、市有地とすることによりって書いてますよね。そして、これは土地を譲渡する場合の条件が示されておりと書いてあるんですけども、これは、今日現在、これは市有地となつての前提での今日のこの会にお話なんでしょうか。

- 市川主任専門員 この議会の提言があったのは前です。市議会は市有地にしてくださいって言うてるわけですね。建てるのであれば市有地にしてくださいということでもありますので、まだ駅前市有地にはなっていません。この議会からの提言の段階では、病院跡地の方も市有地にはなっていません。ここの段階では、病院跡地を買ったのは先ほど説明したとおり令和6年3月です。
- 質問者 12 ですから、今現在において病院跡地は市有地になってるんですね。今現在において、その JR の土地っていうのは市有地になってるんですか。
- 市川主任専門員 なってないです。この市議会で提案を受けたのは令和2年です。
- 質問者 12 ということは、このまだなってない土地を前提にこの会議を開いてるってことですか。
- 高橋次長 あくまで今回比較調査というのをさせていただきましたし、JR から購入する前提で事業を進めさせていただくっていう説明になっております。
- 質問者 12 では、この土地を譲渡する場合の条件っていうものはどういった条件なんですか。
- 高橋次長 それはですね、先ほどご質問あったかと思うんですけども、これは令和5年に議会でも公表させていただいてましたが、大体の面積とこちらで対応するものについては公表させていただいて、議員と皆さんの方にホームページ等で公表させていただいております。それにつきましても、市民会議等々ではご案内させていただいてる情報になります。
- 質問者 12 はい。じゃあ、その時の条件っていうのはどういった条件でしょうか。
- 市川主任専門員 土地の代金は市で評価額を算出した金額がありますが、1億3,000万ほどです。あと、今スポーツ用品店に立っている建物は市の方で解体をする、あと、JR で進入口、作業用の通路があるんですが、それを切り替える経費で1,000万ほどという条件です。これについてもきちんと両方の候補地に建設した場合の経費を積算して、この広報でお示ししました。で、その中に含まれています。
- 高橋次長 木質化に関して言うと、木質化は多分イメージなさっているのは木の建物かと思いますが、その理解でよろしいですか。
- 質問者 12 木造っていうと、木造建築と木質ってありますよね。
- 高橋次長 私どもの方では木質の方を目指しております。木質を検討していますので、木造ではないというふうにご理解をいただきたいです。

質問者 12

一部が木ということですね。

高橋次長

そうです。構造的な部分はやはり図書館ですので、安全面を考えるとそういう部分は難しいんじゃないかというふうに考えておりますが、その部分についてもこれから設計等々で考えていく状況になっており、現段階ではお示しできない状況です。考え方はそういう方向でいきたいと思っておりますが、現段階でどうするのっていう部分に関しては、これから設計で詰まっていく部分だと思いますので、現段階ではそのお示しはできないかなと考えてます。

質問者 12

いずれ土地はまだ市有地にはなっていないってことで。そうですね。はい、わかりました。

質問者 16

JR の今、今のスポーツ用品で建てる場合に市民の意見が集約されなければ、交渉、土地の売買の交渉には応じないって JR の方針があるんですが、今のままでいけるんですか。それとも病院跡地派の方に説明して、納得えられたらやるのか。どういう風にやる予定ですか。確か JR の方から市民の方々の同意を得られなければ売買交渉には応じないというのも前々から言ってたと思う。私前から会議でもよく聞いてたんですが、違うんですか。それは JR となんて聞いているんですか。

市川主任専門員

市として図書館の場所を明確に示してもらわなければ交渉できないって言ってた時期はありますよ。そうだった時期はありますよ。今は条件を示していただいています。もうすでに先ほど申したとおり、図書館建てる場合はこれだけの条件であれば売の可能性がりますよってということ言ってもらってますので、それは前の段階です。

質問者 16

どうしても例えば病院跡地がいいという方々もいらっしゃるんですが、一応市の方で決めたのであれば、もうそれで交渉に入るといことですね。

高橋次長

1 点、先ほどの話なんですけど、JR と協議したのは私たちが先行してやったわけではなくて、前回の市民説明会をした時に、確か委員だったと思うんです。試案検討会議の意見を受けて、市民説明会をさせていただきました。その時に、両方の候補地の金額が分からないと判断ができないという声もありましたので、私たちとしては、そういう市民の声があるので、JR に条件を提示してくだいませんかと言った状態です。で、それが先ほど来市の市川の話になった状態ですので、市として判断がこれからののであれば、進めれるのかなと思ってます。

質問者 16

それでいいと思うんですが、ただ、事業費がいくらかわからないから、その検討とか調査のために 1 年以上かけてまして。で、結局土地購入費が出た。出たんですけど、結構病院の方が安いのに、じゃあそれ、病院跡地の方が出なくて駅前になったことは、やっぱり市民会議の結果を受けたということですよ。だから、その辺もちゃんと説明してほしいんですよ。

高橋次長

すいません。それはこの前電話頂戴した時にご説明した内容でもあるので、時間も

時間ですので、ちょっと割愛させていただきたいと。参加者の皆さんにはちょっとご理解いただきたいと思うんですけども、その部分についてはこれまで説明させていただきましたので、これまでどおりの説明とご理解をいただければと思います。

質問者 12 これは、譲り受けっていう表現はちょっとなんか違和感があるんじゃないですか。建設地について JR 東日本から土地を譲り受けてとなると、なんかまるで無償で譲り出るような。

高橋次長 それは多分表現方法だと思いますので、ご意見として承りたいと思います。

質問者 12 だってそうじゃないですか。いや、普通はなんかそういう意味。ぱっと聞いたらね、その条件も示されてないわけなんで。

高橋次長 条件は前の比較調査の段階で示しております。それは市のホームページにも載っていますし、

質問者 12 このぐらいで購入してちゃんと書いた方が良いと思います。

高橋次長 ご意見として賜りたいと思います。ありがとうございます。

質問者 20 パブリックコメントを4月中に募集するということですがけれども、その情報はちゃんとみんなに開示するんでしょうかという質問と、あと、駅前立地ということについて大きな費用がかかることについて、最近、材料費も上がって建設費もどんどん高騰している中、また都市の人口も減っていつている中で、その将来も見据えて、そこら辺の、市民への負担が大きくなることはないかなとちょっと気になっております。

あと、比較調査費、結構な予算を使ったようですけれども、その予算分で全市民にアンケートを取ることはできなかったのかというところが疑問です。はい、以上です。

市川主任専門員 情報開示っていうのは、パブリックコメントで来たものをちゃんと情報で開示することです。もちろんそれは開示いたします。

材料費等高騰してくっていうのはもちろんありますね。人件費も増えてきてます。ただ、それはどちらに建てた場合も同じです。令和5年の段階での比較を出して、皆さん検討いただいたということです。ただ、やはり本当に高騰してるとなると、今の計画で4,500平米のものになっていますが、どこか減らさなければならぬとか、そういうことはありうると思います。

アンケートをした方がいいんじゃないかっていうことですがけれども、比較調査しないと比較できないっていう意見もあります。そういう資料ちゃんと出さないと、アンケート結果出しても評価してもらえないっていうのがありますから、もちろんそういうのも踏まえて、まずしっかり、両方の候補地でどれだけの建設費がかかるか、どのようなイメージになるかっていうのを調査して、広報でお示ししたりしたというのがあります。

質問者 20

ありがとうございます。駅前だとスポーツ用品店の撤去費用が、無駄と言ったらあれですけども、こちらはかからないのに対して、駅前ですと撤去費用が余分にかかるというので、ちょっと納得いかないところです。以上です。

質問者 15

2 回目です。躯体費用ということで、建物が 25 億 6500 万ですかね、という、どの土地に建てても 4,500 平米なので同じだよというふうに出てはいるんですが、色々資料を見ました。大日本ダイヤコンサルタント株式会社から出てる資料の中に、132 ページです。留意事項、図書館本件の整備単価についてというところの 4 行目。「また同様に、過去の図書館の実績費用から 2 階建て及び 3 階建ての平均費用を算出し、3 回建ての方がやや高くなる結果が見られたが、実際の平面プランや導入設備によって変動するため、現段階でその費用差を想定することが難しいため、今回、階数による費用差では考慮していないと。したがって、今回算定した建築単価については、今後設計をする中で変更が生じるものである。」2 階建てと 3 階建てでどれくらい変わるのかちょっとわかんないですけど、まなび学園に 1 階建てを建てた時って考えると、2 階建てにしたらエレベーターが必要ですよ。非常階段とも必要になるよね、3 階建てだったら非常階段は当然あるよねって考えると、消防とかそういうことをちょっと自分は勉強しないとわかんないですけど。高層になれば高層になるほど、単価というか費用、費用がどんどん増えてくると思うんですが、その部分は今回の資料の中には加味されてないわけです。で、その部分の費用については、何かこの今後具体化設計の段階で提示される機会はありますか。

市川主任専門員

前日も 2 階と 3 階で経費どうなんだっていう話をいただいて、これに基づいて私お話して、コンサルタントが現段階で出てきたのでは 2 階と 3 階では差はないということで、単価で出しますよっていうお話をしました。実際には、おっしゃるとおり、3 階になればエレベーター上まで行くとか、4 階になればもちろんそうですけども、その分建築面積は減ったりするわけですよ。その分、逆に基礎はしっかりしなきゃいけないとかありますが、逆に今のこの屋根の面積が減るんで雨漏り対策とかは少なくできるかもしれないとか、色々あるわけです。この具体的なところについては、基本設計をした段階でしっかり金額が出されてきて、皆さんにもお示しできるというふうに考えているところです。

質問者 17

すみません、今思い出したんですけど、皆さん、市民会議の人たちでデメリットとメリットの出ましたよね。そして、その中で市からのコメントが入ったのがありました。そしたら、駅前は駐車場が少ないという意見に対して、それに対して市の方で注釈した部分では、要望があれば立体駐車場もこれから考えてもいいですよっていうようなコメントが入ってたと思うんです。立体駐車場は取りやめたのにみんなの意見が多いと言って立体駐車場の持ち上がるのかというふうに思ったんですね。そういうことで市民からの要望だから、市民からの要望だから、次々とそれを実現するために予算を組んでいったらどこまで続くんだろうっていうふうな疑問を持ちました。立体駐車場は今ほら増やしたって言いましたよね、50～60 台ぐらい増やしたっていいですけどそれで本当に間に合うか計算してるんですよ。

- 高橋次長 今のご質問なんです、多分ちょっと私達の説明があったかもしれませんが、立体駐車場作らないです。それは会議の中でも話してますし今の方針の中でも話してます。立体駐車場はありません。
- 質問者 19 高校生はアンケート調査をしましたね。高校生の意見も大事だと思います。若い人の意見、大学生の意見。私達も市民なんですけど、私達は取ってもらえないんでしょうか。
- 高橋次長 高校生のアンケートをとったのは、私達ではなくて若者団体の方が行っています。私達がワークショップに行って意見を直接聞いたりこのような形で聞いたことがあったんですけどもアンケートは取っておりません。
- 質問者 19 じゃあ私達が勝手にアンケートを、何か団体を作ってアンケートを始めたら署名とは違うアンケートをとったらこんなに集まりましたよっていう数カウントしてもらえるんですか。
- 高橋次長 ご意見としては承れると思います。
- 質問者 19 アンケート、どういう形のアンケートを取れば聞いていただけるんですか。
- 高橋次長 私達はわかりません、それは、
- 質問者 19 高校生の取ったアンケートはどういうアンケートだったんですか。
- 高橋次長 市のホームページで公開しておりますので、どのような形になっているかを確認いただければと思いますが、例えば図書館が新しく建つのを知っておりますか、今回説明の中でもお話させていただいたかと思うんですがこちらのページ、今日の資料の 11 ページに書いておりますので、ご参考いただければと思います。
- 質問者 19 市民全体を巻き込んで選挙管理委員会が動いてそういう投票っていうことは、何千万もかかるかもしれないっていうようなお話でしたけれども、高校生のアンケートっていうこともいろんな意見がある中で高校生こんなふうな駅前がいいよっていう意見が多かったっていうお話でしたので、そういうアンケートも取れるのかなってちょっと思ったんです。
- 市川主任専門員 もちろん若い方のアンケートを出していただいたのも計画に反映させてますし、皆さん署名された方々も計画に反映したっていうことはご理解いただけますよね。それはちゃんときちんと踏まえていきたいというふうに考えて、ここまで進んできたところでございます。
- 高橋次長 他にありませんか。

(なし)

※なお、令和6年3月末の15歳以上の人口は81,235人となっております。